

Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

2018年世界一周クルーズ、出航です。

Date : 2018/03/25 緯度 : N 35度 27分 経度 : E 139度 39分 天気 : 晴れ 気温 : 17.5度 速度 : -ノット
海域 : - 寄港地 : 横浜



きょうの横浜は穏やかな晴天。絵に描いたような出航日和です。桜は例年より1週間ほど早くほころび始め、羽織っていた上着も要らないほどの暖かさ。横浜大さん橋に停泊中の飛鳥IIも春の日差しを浴びてひとときわ白く輝いていました。日曜日なのも幸いしてか、栈橋上にはたくさんのお見送りのご家族・ご友人が集まってくださっています。

飛鳥IIが地球をぐらりと回るいわゆる「世界一周」は、2015年以来3年ぶり。初乗船の方もリピーターのお客様も、皆さんさぞかし今日の出航を待ちわびていたことでしょう。436室ある客室が満室なのも旅への期待を物語るよう。7デッキ屋外のプロムナードデッキでは、お客様同士、久々の再会を喜ぶ姿も多く見受けられました。

船は、紙テープが舞い風船が青空へと上るなか、「行ってきました〜す!」「行ってらっしゃ〜い!」という声とともに定刻通りの午後2時に岸壁を離れました。頭上に迫るベイブリッジをくぐり抜け、浦賀水道を経て東京湾外へ。そして伊豆大島を回り込む頃には真っ赤な夕日。幸先のいい出航風景を楽しみながら、西日本のお客様をお迎えすべく神戸港を目指しています。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

全員集合、世界一周に行ってきます！

Date : 2018/03/26 緯度 : N 34度 27分 経度 : E 135度 4分 天気 : 晴れ 気温 : 14.0度 速度 : 15.8ノット
海域 : - 寄港地 : 神戸



今朝5時半、飛鳥IIは朝靄の中で潮岬沖を過ぎました。寝ぼけまなこをこすりつつ窓外を望むと太陽はあるものの霞んでいて、あたりすべてが明るく輝いて見えました。その後は晴れて、潜水艦が浮上して航行する場面にも遭遇。小久江尚キャプテンが「珍しい光景なので」と放送を入れてくれたため、多くの方がご覧になれたと思います。

そして10時45分には小さなボートで駆けつけるようにやってきた大阪湾の水先案内人を迎え入れました。狭い友ヶ島水道を通り抜けると、やがて六甲の山並みが正面に。春なのに日差しは強く、屋外デッキにいと肌がじりじりと焼けるよう。隣のお客様が「ずいぶん静かに入って行くものね」と仰る通り、船は滑るように神戸港に着きました。

神戸港では240名ほどのお客様がご乗船。これで約700名の「世界一周仲間」が全員お揃いになりました。夕方の出航時は少しだけ風が出て紙テープがなびき、風船は勢いよく船体をかすめて空へと上がってゆきました。また、船内で行われた鏡開きをご覧の人出（写真上）。楽しい世界一周の門出にふさわしい、賑やかな夜となりました。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

キャプテンズ・ウェルカムパーティー

Date : 2018/03/27 緯度 : N 30度 38分 経度 : E 131度 6分 天気 : 曇り 気温 : 21.0度 速度 : 17.8ノット
海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



日本列島をなぞるように西進している飛鳥IIは、今朝8時50分には宮崎県日南市沖およそ24kmのところを航行していました。この朝8時50分というのは「朝の航海情報」としてキャプテン自らが毎日マイクに向かい、その日の航路やトピックスについてを語ってくれる時間です。きょうはお昼時に種子島宇宙センターの近くを通ることなどを聞きました。

屋久島が目前に見えたのも圧巻（写真上）。屋久杉の森で知られる雨の多い島だけに山頂まで見えることすら多くないそうですが、きょうはそれも見えました。「『ひと月に35日雨が降る』とも言われ、しばしばこの付近を船で通った私自身も過去あまり山頂を見たことがない」と小久江キャプテン。どうやら私たちはかなりツイているようです。

そして今宵はこのクルーズ最初のフォーマルナイト。着飾ったお客様がギャラクシーラウンジに集い、キャプテンズ・ウェルカムパーティーが催されました。サービス精神に富んだ小久江尚キャプテン（写真左下）は「きょうの種子島や屋久島のように、今後もたくさんの素敵な景色をお見せしたいと思っています」と高らかに宣言。拍手喝采を浴びていました。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

クルーズライフの始まり

Date : 2018/03/28 緯度 : N 25度 13分 経度 : E 125度 54分 天気 : 晴れ 気温 : 23.0度 速度 : 19.0ノット
海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



今朝7時に久米島を、午後2時頃には宮古島をと時折島影を望みつつ、一路シンガポールへ向かう飛鳥II。晴れたデッキでカメラを構える方がいるかと思えば、習慣になさっているのでしょうか、早くもジョギングを開始する方など、皆さん思い思いのクルーズライフを始めています。積み込んだ荷物を部屋に解き、束の間の我が家を作り上げた頃だと思います。

各教室のオリエンテーションも続々と始まる中、きょう筆者が特に気になったイベントはパームコートで催された初乗船者パーティー（写真左下）。行ってみると何と広いパームコートがほぼ満席！初乗船のお客様は185名もいらっしゃるそうです。嬉しいですね。キャプテン以下のオフィサーたちを交えて、楽しくご歓談なさっていたようです。

さて、世界一周クルーズ出発に際して、船から視認できる最後の日本が宮古島。携帯電話の電波も徐々に届かなくなってゆきました。いよいよこれからが船上生活を存分に楽しむ時間です。いわばその先頭打者が、今宵のゲストエンターテイナー・今陽子さん。パワフルヴォイス全開のステージで素敵な一夜となりました（同右下）。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

クルーズ最初の「360度海の上」

Date : 2018/03/29 緯度 : N 20度 14分 経度 : E 120度 10分 天気 : 晴れ 気温 : 26.0度 速度 : 18.5ノット
 海域 : 南シナ海 寄港地 : 終日航海日



飛鳥IIは朝方、日本－シンガポール間の常用航路として海運の世界で知られるバシー海峡を通過していました。「とはいえ両舷ともに陸地が見えない広い海峡です。きょうがこの世界一周クルーズ最初の『360度、見渡す限り海の上』という1日になります」と小久江キャプテン。船内放送が毎朝とても丁寧なので、ついつい聞き入ってしまいます。

朝の時点で既に気温は24度。だいぶ南に下って暖かくなってきたのを実感します。きょうあたりから、半袖のお客様をかなり多く見かけるようになりました。各種教室は船内新聞『アスカデイリー』のスケジュール表を埋めつくすほどあって、太極拳、青春ポップス、囲碁、写真、社交ダンス、コーラス教室など、どこに顔を出そうか迷うほど。

写真右下は午後のひととき、リドカフェで催されたコントラクトブリッジの初心者クラス。日差しに包まれた明るい雰囲気の中で和気あいあい。そして夜の新潮劇院 京劇ショー『孫悟空 対 白骨精』も面白かったですね。派手なメイクと衣装、美しい踊りやコミカルな動き。日本語字幕と解説もついて、京劇の魅力がしっかりと伝わってきました（写真上）。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

キーワードは「懐かしの」

Date : 2018/03/30 緯度 : N 14度 38分 経度 : E 114度 58分 天気 : 晴れ 気温 : 27.0度 速度 : 18.9ノット
海域 : 南シナ海 寄港地 : 終日航海日



きょうもよく晴れた日で、飛鳥IIは順調に南シナ海を南西へ航行しています。ここまで横浜から6日、神戸から5日。ずっと天気がよくて波も穏やか。そんな今日、ある意味「懐かしの」というテーマでくくれるようなイベントが、船内で複数催されました。まずは午前10時からの「青春ポップス」の教室を覗いてみましょうか（写真上）。

この教室は、エンターテイナーとして乗船中の歌手・今陽子さんの伴奏をしているエレクトーン奏者・仁科愛さんが先生。「リズム感が悪いと思う方でも大丈夫。タン、タタン、なんてリズムで歩く人はいないでしょう？ トレーニングすれば何とかなるんですよ」。仁科先生のリードで『恋のバカンス』『青春時代』などを、会場いっぱいのお客様が皆で熱唱しました。

昼食後の時間帯は県人会がありました（同右下）。北海道から沖縄、そして海外まで、船内各所の会場で同郷の話で盛り上がっていたようです。「出身の町が隣同士だった」「クルーと同郷」「心の故郷が同じ土地」などなど、その後の船内で、何人ものお客様がやや興奮気味に筆者に話してくれました。世界一周の船内にまたひとつ「和」が広がったように思います。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

クルーズスタッフによる教室

Date : 2018/03/31 緯度 : N 9度 27分 経度 : E 110度 20分 天気 : 晴れ 気温 : 28.5度 速度 : 17.2ノット
海域 : 南シナ海 寄港地 : 終日航海日



船内では講師を招いての各種教室がいくつもありますが、飛鳥IIエンターテイメントチームの「クルーズスタッフ」が担当する教室も日々催されています。船内生活の楽しみを一手に引き受ける彼ら笑顔の男女には毎日必ず船内のどこかで会いますし、お客様にとって、ある意味で最も距離が近いスタッフたちかもしれません。

午前中に6デッキ後方・コンパスルームで行われた「アルバムカバー作り教室」もそんなクルーズスタッフが教える教室のひとつ。全8回中3回目のきょうは、前回に引き続いてアルバムカバーの生地に刺繍をしていく作業です。表紙部分には船の世界の共通語・国際信号旗をあしらいます。聞けば、6つ並べたこの旗で「ASUKA II」の意味を表すのだそうです。

ちょうどそれと同じ頃、船尾のスポーツデッキでは「ディスコン de シャッフルの時間」が開催中。もはや日差しも気温も完全に夏！というデッキにお客様の歓声がこだましていました。客室テレビの航路図で確認すると、船は午後にはベトナムの商都ホーチミンと南沙諸島の間あたりにさしかかったようです。引き続き、一路シンガポールを目指しています。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

影がなくなる日

Date : 2018/04/01 緯度 : N 4度 55分 経度 : E 106度 27分 天気 : 晴れ 気温 : 30.0度 速度 : 15.1ノット
海域 : 南シナ海 寄港地 : 終日航海日



横浜を出港して1週間、暦は4月になりました。日本では桜が各地で見頃を迎えSNS上にもたくさんの投稿があるようですが、飛鳥IIの船上はすっかり夏の気候です。それもそのはず、きょうは「影のなくなる日」。太陽が完全に真上にくるというこの現象は北回帰線から南回帰線の範囲でのみ起こる現象で、日本では決して遭遇できません。

太陽が真上に来たのは12時50分ごろ。船内放送を聞いたお客様が続々とプールでっきサイドに集まってきました。ペットボトルを置いて影がまったくくれないのに驚いたり、両手を広げて自分の真下に落ちる影を確認したり。ここぞとばかりに写真を撮る方も多くいらっしゃいました。それにしてもデッキ上の日差しは強かったですね。

そしてその日差しに負けない熱気でここ数日の船内を盛り上げているのが青春ポップス教室。きょうは最後の発表会で、歌手の今陽子さんも駆けつけてくれました（写真上）。前日のステージで「皆さん、ステップも手拍子もまだまだできるはず！」と仰っていたせいでしょう、きょうのお客様のそれは昨日までの2倍、いやそれ以上のパワーが感じられました。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

シンガポールの空の上から

Date : 2018/04/02 緯度 : N 1度 16分 経度 : E 103度 49分 天気 : 晴れ 気温 : 31.0度 速度 : 16.5ノット
海域 : - 寄港地 : シンガポール



今朝まだ夜が明けないうちから飛鳥IIはこうこうと明かりが輝くシンガポールの景色を望み、夜明けとほぼ同時の午前7時、シンガポール・クルーズセンターに着岸しました。狭い海峡をはさんで対岸には遊園地などがあるセントーサ島。頭上にはロープウェイのケーブルがありました。朝早かったので、着岸時点ではまだゴンドラは出ていませんでした。

きょうの筆者は午前中の「マリーナ・ベイ・サンズトリパークルーズ」のツアーに同行しました。木造の観光船で運河を出発して橋をくぐると、マーライオンや、空中庭園を3つのビルが支える巨大なマリーナ・ベイ・サンズが目前に。飛鳥IIのお客様だけで貸し切った観光船で、ゆったりと川側から望むシンガポールは、美しい先進都市でした。

午後は船体写真を撮りにロープウェイへ。ほんとうに飛鳥IIの真上を超えるその空中散歩は圧巻。ふだんは見ない角度だけに、改めて船の大きさと優美さに気がつきました。眼下の11デッキのプールには、おそらくバタ足の練習をされているのであろうお客様がひとり。もしかすると、これこそが世界でいちばん贅沢なバタ足の練習かもしれません。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

ワールドクルーズのアルバム撮影

Date : 2018/04/03 緯度 : N 3度 37分 経度 : E 100度 28分 天気 : 晴れ 気温 : 28.5度 速度 : 15.3ノット
海域 : マラッカ海峡 寄港地 : 終日航海日



飛鳥IIのワールドクルーズではご乗船のお客様だけが購入できるアルバムが制作されます。当欄筆者の仕事が最近にわかに慌ただしくなってきたのは、そこに掲載する講演の先生や講師の方々などの撮影が始まったから。抜群に面白かった今朝の講演『男と女の脳科学 ～妻ごとと夫ごとはなぜこうも相容れないのか』は、黒川伊保子先生（写真左下）。

男性脳は会話にすぐ結論を求めがちですが、女性へ返す言葉で大切なのは反復と共感だとか。「例えば『きょうはなんだか腰が痛くて』と奥様に言われたらどうお返事しますか？ ほとんどの男性が『お前医者行ったのか』。コレ最悪です」。で会場一同大爆笑。「反復と共感。『ああ腰か、それはつらいな』と答えてあげてください」ですって。

コーラス教室も人気です。写真上、テノール歌手の高島信吾先生（左）とピアノの高橋健介先生（右）。個人レッスンが行われるマリナーズクラブで撮らせて頂きました。午後はフルーツビュッフェもよかったですね。強い香りでホテルへの持ち込みがしばしば禁止されるドリアンすらも屋外のプールサイド限定ではOK。客船上でドリアンを味わう貴重な機会となりました。



Cruise：2018年世界一周クルーズ（102）

プーケットの海と街

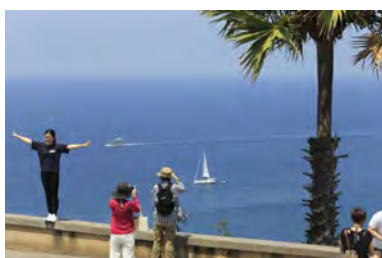
Date：2018/04/04 緯度：N 7度 49分 経度：E 98度 24分 天気：晴れ 気温：32.0度 速度：15.4ノット
海域：- 寄港地：プーケット



舳先を北西へ転じて波穏やかなマラッカ海峡を航行してきた飛鳥II。きょう4月4日の朝8時にプーケット郊外の工業港、ディープシー・ポートに入港しました。なぜディープシー（深い海）なのか分かりませんが、実は名前とは裏腹にとっても浅い河口の港です。港外で180度反転して注意深くそろそろとバックで廻り、右舷づけの出船（でふね）で着岸しました。

曇り時々雨の予報に反して見事に晴れました。午前中の「プーケット半日観光」では一帯で最も厚い信仰を集めるお寺のひとつ、シャロン寺院（写真上）を訪ねたり、プロムテップ岬で記念撮影に興じたり（同左下）。そしてオールド・プーケットタウンの散策も楽しみました。中華風とタイ風が入り混じった町家が連なる、カラフルな街でした。

午後の連絡バスで自由散策にいらしたお客様とも、街なかで一緒できました。せっかくなので写真をパチリ。「暑いわねえ、あなた帽子はかぶらなくていいの？」とお気遣い頂くくらい、確かに強い日差しです。土産店で麦わら帽子を買われる方を何度かお見かけしました。そうして現地のファッションを先々で取り入れてゆく旅も、面白いかもしれません。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

アジアンデッキディナー

Date : 2018/04/05 緯度 : N 6度 23分 経度 : E 92度 47分 天気 : 晴れ 気温 : 30.5度 速度 : 17.7ノット
海域 : インド洋 寄港地 : 終日航海日



朝方、右舷にインド領ニコバル諸島の大ニコバル島を望みつつ、飛鳥IIはアンダマン海からベンガル湾へと進んできました。このあとは海運の常用航路を交差するように行くそうで、キャプテンの放送では「行き交う貨物船やタンカーがよりよく見えるはずです」との案内がありました。西行きは空荷、東行きは満載で船体が沈み込んでいるものが多いとか。

船内ではきょうも午前中から各種教室が目白押し。回を重ねて熱気を帯びてきた教室が多いように思います。これが日常となりつつあるのを実感しながらも、決して飽きることがないのも船上生活の魅力。ほどよいタイミングでやってきた今宵いちばんのイベントこそが、写真上、プールサイドでのアジアンデッキディナーです。

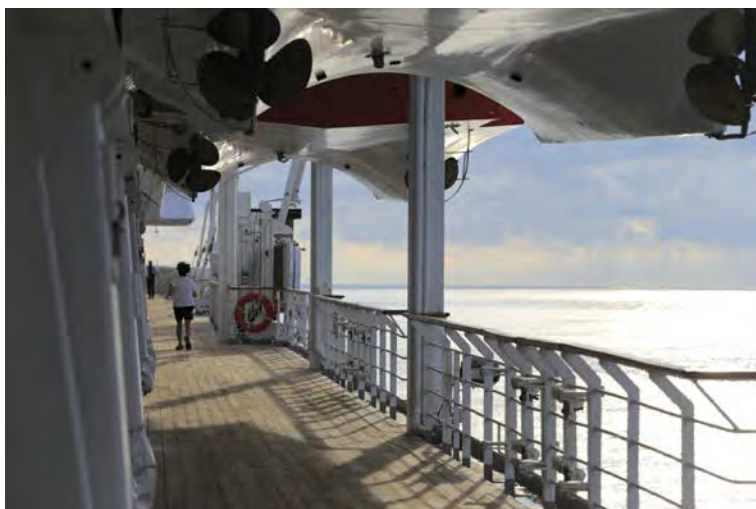
上海焼きそばや仔豚の丸焼き、ホタテなどをビュッフェ形式で楽しめます。ステージ上での演奏にはサプライズでコーラス教室の高畠伸吾先生、高橋健介先生も登場（写真左下）。圧巻の声量がプールデッキを包みこみ、大きな拍手が巻き起こっていました。また、優秀クルーの表彰もあり（同右下）、飛鳥IIのやさしさに満ちた一面を実感できる夜でした。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

引き続き穏やかな海で

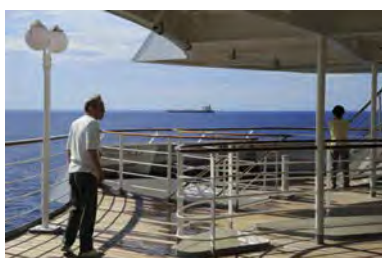
Date : 2018/04/06 緯度 : N 5度 37分 経度 : E 85度 47分 天気 : 晴れ 気温 : 30.0度 速度 : 18.0ノット
海域 : インド洋 寄港地 : 終日航海日



きのうのデッキディナーの最中に一瞬ばらばらと雨粒が落ちてきたほかは、ここのところずっと天気は晴れていて、海はずっと穏やかです。日中は真っ青な空、真っ青な海。日が傾けば海面は光を映して銀色に輝きます。屋外のプロムナードデッキに出ては、日課のウォーキングに勤しむお客様と「きれいな海ですね」と話しています。

当欄筆者の担当する写真教室の第1回も午前中に無事終わり、午後にはお客様向けに販売されるアルバムのためのクルーやスタッフの撮影をしました。レセプションなど各種事務をつかさどるパーサー、寄港地での観光ツアーを担当するエクスカーションチーム、甲板部。お客様と日々接するクルーだけでなく縁の下の力持ちもたくさんいて、この船は動いているのです。

デッキに出ると時々ペンキを塗ったり保守点検をするクルーを見かけるのもロングクルーズの日常です。100日以上に及ぶ世界一周では特に船は休みなく走り続けるわけで、改めて考えると毎日毎日、こんなに滑るように海をゆくのはすごいこと。そんなことを思いつつ、今宵はウーマン・オブ・ザ・ワールド（写真右下）の美声を堪能しました。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

ブリッジから見る風の海

Date : 2018/04/07 緯度 : N 4度 46分 経度 : E 78度 9分 天気 : 晴れ 気温 : 30.0度 速度 : 18.4ノット
海域 : インド洋 寄港地 : 終日航海日



飛鳥IIは昨夜スリランカの南沖合を通過して、いま、インド洋を航行しています。今朝は9時から待望の、このクルーズ最初のブリッジオープン（操舵室見学）。開始間際には待ちわびた方々の行列が。それもそのはず、ふだんは入れない客船のブリッジはそこからの眺めは無論、電子海図などの計器類や信号旗等々、見るものすべてが珍しいのです。

小久江キャプテン（写真上・右側）や高木スタッフキャプテン（同右下、左から2人目）をはじめとするクルーが、お客様の質問に、時折冗談を交えつつ、丁寧に答えていました。こうしたクルーとお客様との交流を見るにつけ、この世界一周が何といい雰囲気だろうかと実感します。お客様の笑顔を見れば、当欄読者の皆さんにも同意して頂けることでしょう。

しかも海はブリッジオープンにふさわしい、すばらしい風。3月25日に横浜を発って以来ずっと穏やかですが、そんな中でもきょうがいちばん風いでいます。キャプテン曰く「私は何度も船で往来しましたが、こんな静かなインド洋は初めてです」。キャプテンズ・ビューとでも言いましょうか、特等席からの眺望に、筆者もしばし見惚れてしまいました。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

1 島 1 リゾートのビーチにて

Date : 2018/04/08 緯度 : N 4度 12分 経度 : E 73度 29分 天気 : 晴れ 気温 : 30.5度 速度 : 15.1ノット
海域 : - 寄港地 : マーレ



中3日の終日航海日ののちに、飛鳥IIは今朝早くモルディブの首都マーレ沖に投錨しました。ハネムーンの目的地として日本でも有名なモルディブは美しいエメラルドグリーンの環礁に囲まれた大小の約1190の島々からなっていて、とりわけ、ひとつの小さな島すべてをひとつのリゾートホテルが占有する「1島1リゾート」の優雅さで人気です。

きょうの筆者はそんなモルディブを堪能できる「リゾートのビーチで海水浴」のツアーに同行しました。沖留めされた飛鳥IIから直接地元のボートに乗り込んで走る約40分、目の覚めるような水色に縁取られたバンドス・リゾートに到着。吹き抜けのロビーのソファでゆっくりウェルカムドリンクを味わったら、さっそくビーチへ向かいます。

小道をゆくと、目の前に広がったのがご覧のビーチ（写真上）。皆さんさっそく水着で海へ。シュノーケリングの道具を借りる方もいらっしゃいました。サンゴ礁にはきれいな魚がたくさんいて、しかも全然逃げません。抜群の景色をバックに記念写真のシャッターを押すと、あるご夫婦の奥様が「なんだか若い頃に戻ったみたいね」と嬉しそうに仰っていました。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

それぞれの船内生活

Date : 2018/04/09 緯度 : N 7度 5分 経度 : E 70度 20分 天気 : 晴れ 気温 : 30.5度 速度 : 15.5ノット
海域 : インド洋 寄港地 : 終日航海日



気づけば出航してから半月ほどが経ちました。非日常の客船での暮らしがそろそろ日常になりつつある頃かもしれません。毎日のペースを作る朝8時50分のキャプテンの放送はもちろん今朝も変わらずあって、昨日の寄港地モルディブに伝わる「書くときはタテ、読むときはその紙をヨコに置き直して読む」という珍しいターナ文字の話の話を聞きました。

そのターナ文字やモルディブに関する新聞記事がレセプション脇のホワイトボードに掲出されたとあって、朝から何人ものお客様がいらしていました（写真左下）。隣にはツアー予約デスクと寄港地紹介デスク。次の寄港地・オマーンのサララは大半の方にとって未知の場所となるだけに、熱心に質問をするお客様の姿がありました。

回を重ねて大詰めを迎えつつある教室もあります。全8回中6回目、服部恵理子先生の風呂敷教室の一場面が写真上。この教室は風呂敷の活用法やモノを包むやり方だけにとどまらず、日本の伝統文化・贈る心の表し方などにも触れる内容が魅力です。机の前に広げた1枚の布の可能性に、皆さん驚いていたようでした。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

コーラス教室発表会

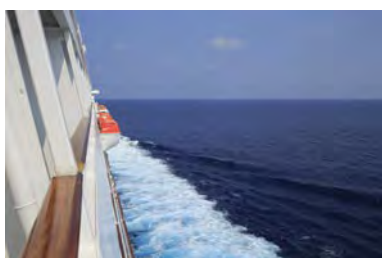
Date : 2018/04/10 緯度 : N 10度 0分 経度 : E 64度 47分 天気 : 晴れ 気温 : 30.5度 速度 : 15.6ノット
海域 : アラビア海 寄港地 : 終日航海日



次なる寄港地は、モルディブから中3日で到着するオマーンのサララ。3日間の終日航海の2日目、きょうも飛鳥IIは晴天のもと順調に西へと航行しています。「綿雲や入道雲がぼっかり浮かぶインド洋から、次第に空全体が霞んだような天気が多いアラビア海へと入ります」と小久江キャプテンから聞いたせいか、雲の様子が変わったようにも感じます。

どこかのんびりとした空気が漂う終日航海日。午後にはこのクルーズ初となる「ASUKAオークション」が11デッキ前方のパームコートで催されました（写真右下）。船内通常価格から価格を下げるダウンオークション形式です。目玉のブルゴーニュ赤白セットをはじめ、スペインワイン、日本酒、鹿児島焼酎のセットなど多数が出品され、次々落札されてゆきました。

夕方の注目イベントはコーラス教室発表会。全8回の教室で習った第九などの成果を、およそ百数十名もの皆さんがアスカプラザに集って熱唱しました（同上）。指揮の高畠伸吾先生に向かう皆さんの姿は真剣そのもの。大きなひとつの渦が巻き起こったかのような歌声は実に素晴らしかったと思います。終わった後の皆さんの晴れやかな顔もまた印象的でした。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

クルーズ2度目のフォーマルナイト

Date : 2018/04/11 緯度 : N 14度 14分 経度 : E 58度 20分 天気 : 晴れ 気温 : 31.0度 速度 : 19.0ノット
海域 : アラビア海 寄港地 : 終日航海日



外は少しだけ風が出そうな予報ですが、相変わらず穏やかな航海を続けています。キャプテンの言葉を借りれば飛鳥IIはただいま「連続揺れなし記録更新中」。海は平らなんじゃないかと思うほど、船は滑るように進んでいます。静かな日には、心に残った寄港地でのエピソードや日々の小さな出来事を、改めて文章に残そうと思い立ったりするものです。

そんな方にぴったりなのが脚本家・一色伸幸先生（写真左下）の講演「人に読んでもらえる文章を書こう」。度々講師乗船されるお馴染みの一色先生、旅の場面やそのときの想いを原稿用紙1枚、わずか400字に封じ込める力にはいつも心を打たれます。観察眼、言葉の選び方、印象づけるための文章の重ね方……。学ぶところがいっぱいです。

創作意欲を掻き立てられた方が選ぶきょうのテーマは、もしかすると今晚の、クルーズ2度目のフォーマルナイトかもしれません。上の写真はアペリティフタイムをラダートリオの肩越しに。右下はディナーのメインディッシュより「特選牛サーロインのロースト マスタード風味のソース」。さて、皆さんはどんな想いを原稿用紙に残したのでしょうか。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

乳香の産地サラールを歩く

Date : 2018/04/12 緯度 : N 16度 57分 経度 : E 54度 1分 天気 : 晴れ 気温 : 30.0度 速度 : 17.9ノット
海域 : - 寄港地 : サラール



美しい朝日が昇りはじめた午前6時過ぎにはすでに岸壁がそこにあり、飛鳥IIは係留作業を進めていたようでした。きょうはこのクルーズ唯一の中東、アラビア海に面したオマーンのサラール港への寄港です。首都マスカットなど北部沿岸はまだしも、乳香の産地として知られるサラールを訪ねたことがある人は、よほどの旅好きでも少ないに違いありません。

まさに船でこそ行けるオマーン南部、このあたりはアラビア半島にしては珍しくモンスーンの恵みで雨が降り、緑豊かなところですよ。珍しい降雨を体験するために、わざわざ他の中東諸国からやって来る観光客もいるのだとか。「サラール半日観光」では、現国王が里帰りの際に使うアルフスン宮殿（写真上）や、世界遺産に含まれるアルバリード遺跡を訪ねました。

イスラム教の伝統と戒律をわりと厳格に守るこの国には、経済発展著しい他の中東諸国とは違う、特有の穏やかな空気が流れています。だから気づいた方も多いはず。街にいるのは男性ばかり。ちなみに彼らの民族衣装の首元にある房は、香水をつけておいて「埃っぽい砂漠や市場などで匂いが気になるときに鼻元へ持っていき、自分を守る」のだそうですよ。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

アラビア海で東洋に思いを馳せる

Date : 2018/04/13 緯度 : N 14度 46分 経度 : E 54度 0分 天気 : 晴れ 気温 : 30.0度 速度 : 15.3ノット
 海域 : アラビア海 寄港地 : 終日航海日



昨夜遅くにサララを出航した飛鳥IIはこの先、アラビア半島を回り込むように紅海に入り、スエズ運河を通航します。このクルーズのハイライトのひとつでもあるスエズ運河を挟んで、次の寄港地ミコノスまでは中8日。ゆったりと時間が取れる期間でもあります。そんな連続終日航海の初日のきょうは、はるか東洋を思い起こす船内行事が続きました。

午前中のハリウッドシアターで催されたのは綿谷基さんによる講演「墨の不思議な魅力」（写真右下）。固形墨の95%が奈良で作られ、天平時代より1300年の歴史をもつという墨の魅力を紹介してくれました。この綿谷さん、このあとは「絵手紙教室」の先生として船内でご活躍の予定。見どころ続くスエズから地中海で絵手紙を書いてみるのも素敵ですね。

今晚のコンサートには中国琵琶奏者で歌手のTingTingさんが登場（同上）。「ペルシア起源のこの楽器は東に行って琵琶になり、西でギターになりました。日本では横にしてバチで弾く琵琶が残った一方で、中国では縦に持って指で弾くソロの楽器としての琵琶が残ったんです」。大学で教鞭を振るうTingTingさんだけに、演奏はもちろん、トークのほうも抜群でした。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

船上の健康運動教室で

Date : 2018/04/14 緯度 : N 13度 11分 経度 : E 48度 58分 天気 : 晴れ 気温 : 32.0度 速度 : 12.3ノット
海域 : アラビア海 寄港地 : 終日航海日



102日間に及ぶ世界一周クルーズはもはや単なる旅ではなく船上での暮らしですから、健康維持も大切です。それゆえふだんの船内では、夜明け前からデッキをウォーキングしたり、空き時間にジムで汗を流したり、ダンスを日課にしていたりと、皆さんそれぞれに健康維持法を実践されています。健康談議に花が咲くのも船内の日常風景のひとつです。

さて、きょうはサララから乗船した新たな講師・西内久人先生による「健康運動教室」がありました（写真上、右下）。「血液の流れを止めて低酸素状態をつくり、その後また戻すことで成長ホルモンの分泌を促す」という、強い力を使わない緩やかな運動法。重い負荷をかける筋トレとはまったく理屈が違うのだとか。

当欄筆者も船旅のさなかの過剰な運動で筋肉を痛めたことがあり、無理ない運動法の大切さは我が身で体験済み。皆さん同じ思いがあるのかどうか、会場はご覧の通りの盛況でした。ほかにも船内ではきょうも各種教室やイベントが催され、晩には東京藝大出身メンバーがフルートを奏でる、素敵な「LYNX（リンクス）コンサート」がありました（同左下）。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

初代飛鳥の甘い思い出

Date : 2018/04/15 緯度 : N 12度 25分 経度 : E 43度 49分 天気 : 晴れ 気温 : 29.5度 速度 : 13.3ノット
海域 : アラビア海 寄港地 : 終日航海日



アデン湾を西進して紅海へと向かうさなかの飛鳥II。海運の要衝だけに周囲には貨物船やタンカーの姿も多く見かけます。今朝早く、船内時間の7時ごろにはちょっとしたサプライズがあり、右舷後方からドイツの客船アマデア（2万8856トン）がやってきました（写真上）。ご存知の方も多いはず、この船、実は初代の飛鳥です。

優美な船体を懐かしんで「こぢんまりしたあの船もよかったのよ」と仰るリピーターのお客様のお話を、たびたび聞いたことがあります。そのうえ偶然にも筆者の部屋を担当するハウスキーピングのフィリピン人クルーが「私も実はあの船の頃から乗っているんです。とても懐かしいです」。2隻は汽笛のやりとりをしたり、しばらくランデブーを楽しみました。

船はやがて北西に進路を変えて進みます。午後のパームコートでは、パリで活躍する長江桂子パティシエとのコラボによるスイーツを提供（同下2点）。グラスデザートゆずチーズケーキ、チョコレートケーキ、そして米粉のクッキーと、上品で美味しいスイーツを堪能しました。初代飛鳥の思い出話に、素敵な華が加わりました。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

アラビアンカジノの夜

Date : 2018/04/16 緯度 : N 18度 43分 経度 : E 39度 33分 天気 : 晴れ 気温 : 29.0度 速度 : 19.0ノット
海域 : 紅海 寄港地 : 終日航海日



紅海の奥へと向かって北西に進む飛鳥II。「紅海の全長約2300kmのうちおよそ670kmほどを航行した」と朝8時50分の定時の放送が告げていました。廊下でそんな放送を聞きつつ向かった先は、9時スタートのクラブ2100でのアルゼンチンタンゴ教室です。乗船中のバンドネオン奏者・平田耕治さん率いるグループのタンゴダンサーたちが先生をしてくれます。

教えてくれたのはギジェルモとロクサーナのふたり（写真左下）。模範演技はうっとりするほどの美しさ。「女性はいわばお花です。力が強すぎると枯れてしまいますから、強すぎず、弱すぎず……」とギジェルモが男性の皆さんへアドバイス。基礎の8歩を覚えてミロンガパーティーで踊れることを目指してレッスンをしてくれるそうです。

また、今夜はギャラクシーラウンジでのショーに代わってお客様参加型の「アラビアンカジノ」がアスカプラザで催されました。小久江キャプテンをはじめオフィサー陣がそれぞれアラビア風の衣装に身を包んでディーラーを務めます。お客様はゲームの行方に一喜一憂、見事多くのチップを獲得した方は、飛鳥IIオリジナルグッズなどの賞品を手に入れました。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

スエズ運河よもやま話

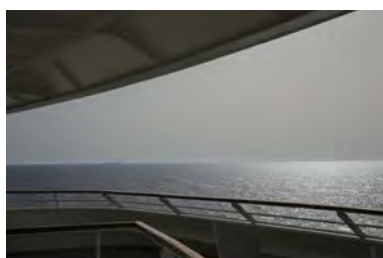
Date : 2018/04/17 緯度 : N 24度 47分 経度 : E 36度 9分 天気 : 晴れ 気温 : 27.5度 速度 : 16.4ノット
海域 : 紅海 寄港地 : 終日航海日



ロングクルーズのさなかには、時折、クルーが登壇して船の世界ならではの事情や裏話などを話してくれるイベントもあります。きょうはまさにその機会。通航を間近に控えたスエズ運河について、高木スタッフキャプテン（副船長）と金子2等航海士が「スエズ運河よもやま話」と題し、カジュアルなクイズ形式で紹介してくれました（写真上）。

いま船がいる紅海は世界的な交通の要衝だけに、ひとたび海に目をやればタンカーや貨物船が行き交う姿が必ずあります。これが幅の狭いスエズ運河に至ると「ほぼ一方通行」になるとのこと。北行きと南行きがそれぞれ北航船団・南航船団と呼ばれるグループをつくり、「タイミングがよければ水路が複線化された部分ですれ違いのシーンに出合えるかも……」。

スエズ運河はパナマと違って閘門のない切り通し。なのに通航料はスエズの方が高いとか。合計3名の水先人やプロジェクタライトを整備するための電気技師、緊急時にもやいを扱うボートマンが乗り込む等々、知らないことばかりで期待が膨らみます。晩のコンサートでは、石垣島出身女性デュオ・やなわらばーの美声がギャラクシーラウンジを包んでくれました（同右下）。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

今宵の主演はお客様

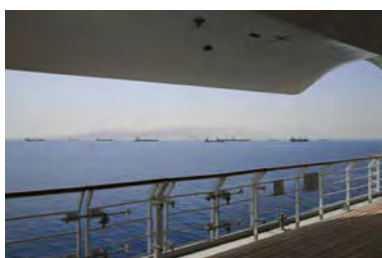
Date : 2018/04/18 緯度 : N 29度 50分 経度 : E 32度 34分 天気 : 晴れ 気温 : 30.0度 速度 : 10.0ノット
海域 : スエズ運河 寄港地 : 終日航海日



スエズ運河を確実に明るい日中に満喫できるよう、当初きょうだった通航予定は明日に変更になっています。お昼過ぎに運河の入口に着いた飛鳥IIはひとまずここに錨を下ろして明朝いちばんの出発まで待機します。同じように投錨している貨物船やタンカーが、砂漠のような荒涼とした陸地をバックに点々と、黒いシルエットになって見えています。

きょうのメインイベントは、ふだんと打って変わってお客様が主役です。「スター発掘!! on ASUKA II」と題したお客様出演の、いわゆるかくし芸大会が夜にあるのです。午前中には応援グッズ作りの時間も設けられ、会場のコンパスルームでは、出演されるお友達の名前を書いたうちわを作ったり、横断幕を作ったり（写真右下）。

ディナーのあとの夜9時15分、いよいよギャラクシーラウンジで開演。8組の皆さんが、歌や三味線、弾き語りなど、得意の一芸を披露してくれました（同上）。会場からは惜しめない拍手、そして出演の方の名前を呼ぶ声。審査員となった小久江キャプテン、川上ホテルマネージャー、和田機関長も冗談を交えた楽しいコメントで盛り上げてくれました。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

砂漠の中を船がゆく

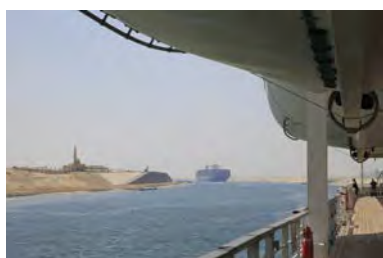
Date : 2018/04/19 緯度 : N 30度 47分 経度 : E 32度 19分 天気 : 晴れ 気温 : 25.0度 速度 : 8.1ノット
海域 : スエズ運河 寄港地 : スエズ運河通航



今朝まだ陽がのぼるよりも早い午前4時に飛鳥IIは錨を巻き上げ、いよいよスエズ運河へと進み始めました。薄闇の中、左舷にモスクの尖塔を望みつつ運河の入口に取り付きます。5時18分、右舷真横から真っ赤な日の出。風景の色合いは刻々と変わり、徐々に一帯が荒涼とした砂漠であると、はっきりと分かるようになってきました。

途中にはリトルビター湖・グレートビター湖とふたつの湖が続きます。運河の眺めをほぼ理解した頃には、7デッキ前方から何やら賑やかな声が響いてきました。行ってみると、運河のボートマンがお土産屋さんに早がわりしてエジプトグッズを売っています。運河通航のみで上陸しないエジプトですから、確かに土産を買うなら今がチャンスです。

飛鳥IIはきょうの北航船団の先頭となる第1船。あとにはコンテナを満載した貨物船などが続いています。途中、複線の区間では対向の南航船団の船がまるで砂漠の中を進むかのように見える場面もありました。運河中で唯一船がくぐる橋・ムバラク平和橋をくぐり抜け、午後2時半ごろ、ついに飛鳥IIは地中海へと抜けました。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

地中海で絵手紙を

Date : 2018/04/20 緯度 : N 34度 47分 経度 : E 28度 37分 天気 : 晴れ 気温 : 20.0度 速度 : 14.5ノット
海域 : 地中海 寄港地 : 終日航海日



地球を西回りに進む飛鳥IIは陸地との時差を解消するため、何日かに一度、深夜に時計の針を1時間遅らせ1日が25時間になる「後進の時刻改正」をしてきました。きのうのスエズ運河までで日本との時差は7時間。が、ここへきてギリシャのサマータイムに合わせるべく、昨晚、このクルーズ初となる「前進の時刻改正」がありました。

1日が23時間になった朝は本来いくらか眠たいはずですが、これまで延べ7時間も得をした私たちですから既に十分早起きです。皆さん朝からさまざまな教室に参加なさっていました。人気のアルゼンチンタンゴ教室やゴルフレッスン、社交ダンス、当欄筆者の写真教室など各種あるなかで、きょうここでご紹介するのは綿谷基先生の絵手紙教室（写真左下）。

旅にも便利な水筆ペンで絵葉書に彩色し、周囲に自由な文を加えます。昨今主流のメールやSNSにはない、手で描くからこそ味わい。これから続く地中海の寄港地で日本のご家族に絵手紙を……なんて、素敵ですね。海はいくぶん風があつて白波が立っていましたが、晩のフルート・カルテットLYNXのコンサートまで、盛りだくさんの1日でした。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

島影望むエーゲ海の終日航海日

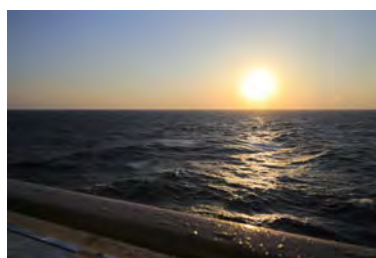
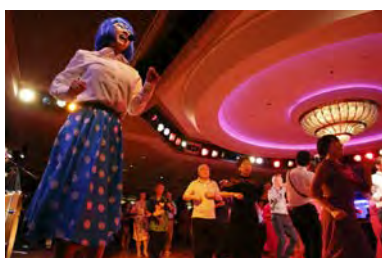
Date : 2018/04/21 緯度 : N 36度 51分 経度 : E 24度 48分 天気 : 晴れ 気温 : 18.5度 速度 : 13.3ノット
海域 : 地中海 寄港地 : 終日航海日



目が覚めると右舷側の自室に眩しい朝日が差し込んでいました。きょうも晴天。ですが風速20～23m程度と風が強く、波も少々あるようです。波高自体は船旅に慣れた方ならきっと「ふつう」と評するであろう程度なものの、きょう寄港予定だったミコノスはテンダーボート利用の上陸で、残念ながらこの海象条件では難しく、寄港せずとなりました。

こんな時は変わり身の早さこそが旅を楽しむ秘訣です。朝一番にミコノス島を望んだあとは島々が点在するエーゲ海を航行し、昼にはミロのヴィーナスで知られるミロス島も間近で目視。船内では新たなプログラムが組まれ、午後にはカジュアルトーク「アーティストに聞いてみまSHOW」を開催。乗船中のエンターテイナーやゲストシェフのトークを楽しみました。

夜には飛鳥IIのロングクルーズではもはやお馴染みの平田耕治さん率いるバンドネオンコンサート（写真上）、さらに夜9時15分からはクラブ2100でのディスコ&ダンスパーティーも（同左下）。クルーズスタッフに加えてオフィサーたちも駆けつけて、お客様とのダンスの時間を過ごしていました。船は次なる寄港地、バレッタに向けて地中海を西進中です。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

それぞれの教室、仕上げの光景

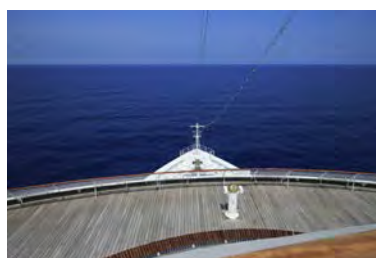
Date : 2018/04/22 緯度 : N 35度 50分 経度 : E 18度 43分 天気 : 晴れ 気温 : 19.0度 速度 : 13.8ノット
海域 : 地中海 寄港地 : 終日航海日



船上生活のリズムを作る各種教室。中には世界一周の間にリレー形式で複数の先生が担当するものもあります。囲碁教室とコントラクトブリッジ教室はいずれも一周を3区間に分けていて、きょうが最初の区切りです。横浜から担当してきた先生が次の寄港地で下船するため、その先生の担当としては最終回となるのです。

午前中に筆者がお邪魔したのは、桜井恒夫先生・詮子先生によるコントラクトブリッジ教室（写真左下）。経験者クラスの最終回です。6デッキ船尾のカードルームには6卓24席があって満員。皆さん慣れた手つきでゲームを楽しんでいました。教室の最後に両先生から挨拶があり、皆さんからは惜しみない拍手のお返しが。どうやらい教室になったようですね。

また、伊藤庸二先生担当の囲碁教室（中級）も最終回。こちらは最後の山場でしょうか、遅れて覗きに行くと先生がお客様相手に10面指しのさなか（写真上）。コの字に並べ替えたテーブルの後ろにはギャラリーなのかオブザーバーなのか、勝負の行方を見守る教室参加のお客様も。真剣勝負の頭脳ゲームの魅力がひしひしと伝わる光景でした。



Cruise：2018年世界一周クルーズ（102）

マルタ島の城塞都市バレッタを歩く

Date：2018/04/23 緯度：N 35度 53分 経度：E 14度 31分 天気：晴れ 気温：22.0度 速度：14.2ノット
海域：- 寄港地：バレッタ



今朝6時過ぎ、日の出とほぼ同時に飛鳥IIはマルタ共和国の首都バレッタの港へ進んでゆきました。「入港風景が素晴らしいのでぜひ早起きを」との案内があったこともあり、たくさんのお客様が眺めのいい船首側、7デッキや11デッキ、12デッキなどに集結。朝日に照らされる城壁と「ハチミツ色」と表現される美しいマルタストーンの色合いを望みました。

接岸場所が城壁の直下なので街へのアクセスも抜群。エレベーターで街の入口にあたるアッパーバラッカガーデンに上り、振り返ると目の前に優美な船体がありました（写真上）。世界遺産のこの街は緩やかな起伏の上に碁盤の目を広げていて、どの通りもそれぞれに美しく、歩くと、細長く切り取られた海が道の向こうに不意に現れたりするのでした。

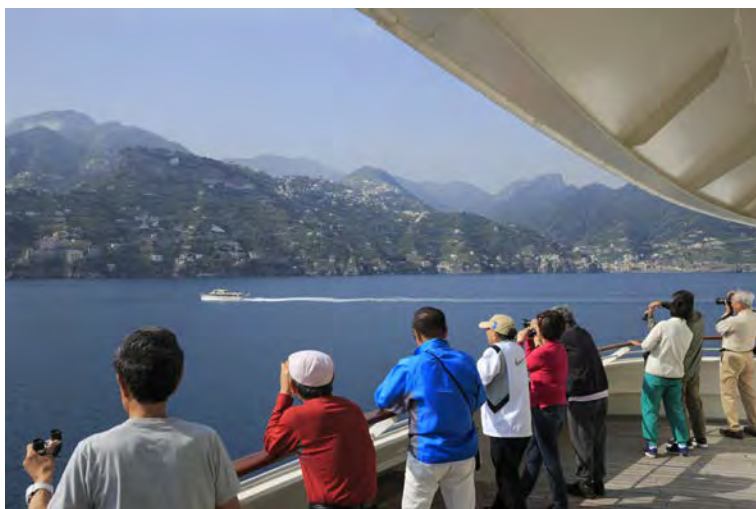
筆者は内部の装飾が豪華絢爛な聖ヨハネ大聖堂に入場し、騎士団長の宮殿の前で衛兵交代の儀式を眺め、創業1837年だという老舗カフェでリコッタチーズ入りのマルタのパイとコーヒーを味わいました。よく晴れた1日でした。出航間際には騎士団の軍事演習を模したパレード「インガーディア」を岸壁で見学（同左下）。満ち足りた気分で船に戻りました。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

アマルフィ海岸を望む

Date : 2018/04/24 緯度 : N 39度 32分 経度 : E 15度 1分 天気 : 晴れ 気温 : 21.0度 速度 : 14.5ノット
 海域 : 地中海 寄港地 : 終日航海日



昨夕にマルタ島のバレッタを出港した飛鳥IIは今朝早くにシチリア島とイタリア本土の狭い隙間、メッシーナ海峡を抜けました。客船3隻と相次いですれ違い、このあたりが地中海クルーズのハイライトのひとつであると気づきます。左舷側のシチリア島には冠雪の活火山・ストロンボリ火山があり、たなびく白煙も目にすることができました。

午後にはキャプテンの計らいでアマルフィ海岸に沿って航行しました。そびえる岩山とレモンの段々畑、それぞれの入江にぎゅっと押し込められたような珠玉の街並み……。一帯の象徴でもあるアマルフィの街の姿も手に取るよう（写真左下）。カメラや双眼鏡を片手にたくさんのお客様がデッキからの景色を楽しんでいました。

船内イベントはきょうも盛りだくさんで、夕食前には昨日の寄港地バレッタで仕入れたマグロの解体ショー、さらにギャラクシーラウンジではゲーデ・ピアノ三重奏団によるコンサート（同右下）。多くを語らず音で聞かせるしっとりとした大人のクラシックは、昼間の海岸美にも引けを取らない素晴らしい。「聞き惚れる」という言葉がぴったりのコンサートでした。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

健脚コースで行くローマ1日観光

Date : 2018/04/25 緯度 : N 42度 6分 経度 : E 11度 46分 天気 : 晴れ 気温 : 20.5度 速度 : 14.4ノット
海域 : - 寄港地 : チビタベッキア



飛鳥IIは早朝6時にイタリアのチビタベッキアに入港しました。ローマの外港として古くから整備された港町で、今ではクルーズの寄港地としてもメジャーです。きょうも飛鳥IIの後に相次いで客船が入港。ざっと見渡しただけで6隻を数えました。白亜の船体が縦列に並ぶさまも壮観で、海上の道もまたローマに通ずなのだと思わせます。

さて、きょう筆者が同行したのは「ローマ1日観光とシスティーナ礼拝堂貸切見学」です。ローマの主要な見どころを網羅した上に、飛鳥IIのお客様だけで閉館後の礼拝堂とバチカン美術館を見学できる贅沢な内容。健脚コースと銘打たれるだけに午前中からナヴォーナ広場、パンテオン、トレヴィの泉、そしてスペイン広場（写真左下）へとずんずん歩きました。

午後はバチカン市国のサンピエトロ寺院（同上、右下）を訪問。カトリックの総本山だけに内部の荘厳さも格別です。その神聖な空気を肌で感じ、閉館を待ってバチカン美術館へ。ローマ教皇を選出する「コンクラーヴェ」が行われる場所、そして有名なミケランジェロの大作『最後の審判』が描かれているシスティーナ礼拝堂の静かで凛とした雰囲気を堪能しました。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

思いのままにローマを歩く

Date : 2018/04/26 緯度 : N 42度 6分 経度 : E 11度 46分 天気 : 晴れ 気温 : 20.5度 速度 : -ノット
海域 : - 寄港地 : チビタベッキア



オーバーナイトの停泊でチビタベッキア2日目となるきょう、筆者は「ローマ有料連絡バス」で再び永遠の都に舞い戻りました。中心部・テルミニ駅近くの百貨店内に飛鳥IIのお客様専用にあがりが設けられ、そこから徒歩でめいめい自由な方向へ。車中で既にガイドさんが見どころや行き方などを詳しく解説してくれたため、どなたの足取りにも迷いはありません。

観光名所の写真もいいですが、きょうは敢えて「日常のローマ」をフォトエッセイに載せてみます。写真上はあがりにした百貨店の目の前にあるロータリー。ローマはどこも石畳の道で、随所に噴水があり、遺跡と建物が共存しています。層をなす長い歴史がそのまま、今のこのような景観に現れているとも言えるでしょう。

街を散策した末に遺跡に至るプランがいいなと思いつき、フォロ・ロマーノとコロッセオのある場所まで歩きました。しばし眺めを楽しんでから道端のレストランでひと休み。で、直感で頼んだゴルゴンゾーラの Pasta (写真左下) が大正解。コクがあって実に美味しい。ローマの味に外れはないですね。夕方5時、飛鳥IIはバレンシアに向けて出航しました。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

スペインの薫り漂う船内と日本絵画

Date : 2018/04/27 緯度 : N 40度 18分 経度 : E 4度 42分 天気 : 晴れ 気温 : 16.5度 速度 : 18.5ノット
海域 : 地中海 寄港地 : 終日航海日



イタリアのチビタベッキア出航後、飛鳥IIは夜半にフランスのコルシカ島とイタリアのサルデーニャ島の間を抜けました。いまは明日の寄港地、スペインのバレンシアに向かって西進中です。きょうの『アスカデイリー』にはスペイン語教室やフラメンコ教室、フラメンコショーといった文字が踊り、船内は途端にスペイン一色に塗り変わっています。

そんな中でひととき異彩を放ったのがハリウッドシアターでの講演『海の上から想う日本絵画』。担当は『ヘンな日本美術史』でお馴染みの山口晃先生（写真左下）です。昨日おとといとローマで観たミケランジェロやダヴィンチなどの作品を枕にしつつ、それとは全く異質な日本画の世界を、つぶやくような語り口とコミカルな板書で教えてくれました。

また、夕方にはスペインのマヨルカ島を左舷に遠望。ノコギリの刃のような岩山が続いたかと思えばその先の小さな入り江にビーチがあったり（同上）、急峻な斜面に細かな石垣を築いて段々畑が作られていたり……。晩のロレナ・サムディオ・ポレイ&ファナ・マルケスによるフラメンコショー（同右下）も、明日のバレンシア入港を期待させる情熱的なショーでした。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

飛鳥II初寄港のバレンシアで

Date : 2018/04/28 緯度 : N 39度 27分 経度 : W 0度 19分 天気 : 曇り 気温 : 22.5度 速度 : 12.9ノット
海域 : - 寄港地 : バレンシア



地中海に入って寄港地が続いていますが、一昨日発ったチベタビッキアと今朝接岸したバレンシアは飛鳥II初寄港の港です。このあとのジブラルタル、ビルバオ、ハンブルクなどもそう。旅とはまだ見ぬ景色に心動かされること。だから初寄港と聞くと、よりいっそう「どんな街だろう？」という興味が湧いてきます。

バレンシアのクルーズターミナルから旧市街まではシャトルバスで20～30分でした。徒歩で回れるコンパクトな街です。石造りのセラーノスの塔が旧市街へのひとつの入口。アーチの向こうに覗く建物は控えめながらも要所要所の色遣いが明るく、可愛らしい街だなあと感じます。日本でもお馴染みのバレンシアオレンジや、スペイン料理のパエリアが名物だそう。

カテドラル、元絹織物取引所でゴシック様式の世界遺産ラ・ロンハと見どころを繋いで歩くと、道の奥に中央市場が見えました。場外では花屋やカフェが道いっぱいにテントやパラソルを広げています。人ごみをかき分けて市場に入ると、生ハムやチーズ、魚介や野菜などを売る、活気に満ちた当地の日常風景がありました。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

スペイン沿岸クルーズ

Date : 2018/04/29 緯度 : N 37度 52分 経度 : W 0度 35分 天気 : 晴れ 気温 : 16.5度 速度 : 10.7ノット
海域 : 地中海 寄港地 : 終日航海日



昨夕19時にバレンシアを発った飛鳥II、きょうは終日スペインのコスタ・ブランカ沿岸をクルーズします。朝方右舷に望んだ丘上の砦、サンタバルバラ城（写真右下）のような美しい景色が終始続きます。そんな中、ほぼ時を同じくして船内ではフラメンコ教室が。エンターテイナーのロレナとファナのふたりが先生になって教えてくれました（同左下）。

情熱的な踊りで知られるフラメンコ、運動量はかなりのものです。手拍子をたたきながら通しで踊り、終わるとすぐさま「はい、サイショから!」。振り付けを覚えるだけでなく、しっかり汗をかく45分間にもなったようです。本場の歌とギターも交えた教室はきょうが2回目で最終日。最後はお客様からの惜しみない拍手で幕を閉じました。

そしてスペインといえばもうひとつ。午後のコンパスルームで行われたスペイン語教室はクルーズスタッフの岩本さんが先生です。たとえば「h」を発音せずホテルがオテルになるといったスペイン語のポイントをおさえつつ、旅に便利な短文をたくさん習いました（同上）。明日のマラガやその後のビルバオで、ぜひ使ってみたいですね。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

イスラム文化も垣間見える港町

Date : 2018/04/30 緯度 : N 36度 42分 経度 : W 4度 25分 天気 : 晴れ 気温 : 22.0度 速度 : 12.4ノット
海域 : - 寄港地 : マラガ



スペインのコスタ・デル・ソルに面する大都市マラガ。きょうの飛鳥IIはここマラガに寄港しています。地中海に入って以後の最近は朝晩がかなり涼しくて上着が要るほど。船上にいる身からすると常夏の南の海を経て「季節がすっかり春に戻ったなあ」という気がします。とはいえここでも日中の日差しはじりじりと暑く、少し歩くと腕まくりをしたくなります。

マラガを沖合から見るとまず目につくのは丘上に連なる城砦です。11世紀に当地を治めていたイスラム勢力が築いた砦・アルカサバがそれ。迷路のような階段を上るとイスラム風の美しい装飾や四角い中庭があったりしますが、何より目を奪われるのは海と街の景観です。砦から見渡すと、風景の左奥にはスペインらしく闘牛場もありました（写真左下）。

街にはほかにもカテドラル（同上）やローマ劇場（同右下）などの見どころも。また、かの有名な画家・ピカソの生家やピカソ美術館などもあります。きょうは出航が夜10時と遅めなので、街のレストランでゆっくりご飯を食べたり、皆さんそれぞれにゆったりとマラガでの1日を楽しんでいたようです。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

地中海の玄関口の岩山へ

Date : 2018/05/01 緯度 : N 36度 9分 経度 : W 5度 22分 天気 : 晴れ 気温 : 18.0度 速度 : 9.9ノット
海域 : - 寄港地 : ジブラルタル



今朝8時を少し過ぎた頃、飛鳥IIは昨日のマラガに続く連日の寄港地、ジブラルタルに到着しました。入港前から屋外デッキに出ていると夜明けとともに三角形の岩山がシルエットを現して、次第に朝焼けの赤や橙に輪郭を縁取られてゆきました。船は狭い港内で防波堤すれすれの左180度転回を難なくこなし、左舷付け入船（いりふね）で接岸しました。

きょうは午前中のみの停泊ですが、地中海クルーズで海峡は通ってもここジブラルタルに寄港するのは珍しいだけに、皆さん早々に下船して散策を楽しまれたようです。筆者もずんずんと歩いてメインストリートを抜け、「ザ・ロック」の通称をもつターリク山の頂上を目指してロープウェイに乗り込みました。

ものの5分で着いた頂上はご覧の絶景（写真上）。そびえ立つ岩山と抜けるような青空が本当に美しかったです。また背中側に目を転じれば、目と鼻の先にはアフリカ大陸の突端が……。古くからの戦略的要衝であり、現在は周囲こそスペインながら岩山付近だけがイギリス領で独自通貨ジブラルタル・ポンドが流通するという、個性的な寄港地を存分に堪能できました。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

ユーラシア大陸最西端のロカ岬へ

Date : 2018/05/02 緯度 : N 38度 43分 経度 : W 9度 7分 天気 : 曇り 気温 : 17.0度 速度 : 16.4ノット
海域 : - 寄港地 : リスボン



飛鳥IIは日の出直後の午前7時にテージョ川を遡りはじめ、9時にリスボンのクルーズターミナルに着岸しました。石畳と坂道と路面電車。いつ来ても美しい、歴史あるポルトガルの港町です。今回の寄港はオーバーナイトで翌朝10時の出航。なのできょう1日ゆったり観光できるはず。筆者は「リスボン・シントラ・ロカ岬1日観光」にご一緒しました。

世界遺産のジェロニモス修道院など市内の見どころを見学したあと、郊外へ。カモンイスの詩「ここに地終わり、海始まる」で知られるロカ岬（写真左下）を目指します。谷あいには色とりどりの建物がぎゅっと肩を寄せ合うシントラも、道すがらに訪ねました。王宮の入口で振り返ると、向かいの斜面に並ぶ建物たちの美しいこと！（同上）

ポルトガル料理の昼食がつく盛りだくさんの1日ツアー。どなたさまもご満足頂けたことと思います。筆者はさらに夜のリスボンの雰囲気を楽しむべく、帰船後に改めて外出しました。老舗のカフェで夕食をとり、高台のサン・ジョルジェ城へ。帰りの下り坂で、橙色の街あかりに浮かぶ路面電車にしばし見惚れてしまいました。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

青空の下のリスボン出航

Date : 2018/05/03 緯度 : N 38度 27分 経度 : W 9度 37分 天気 : 晴れ 気温 : 17.0度 速度 : 10.6ノット
海域 : 北大西洋 寄港地 : 終日航海日



今回のリスボン出航は朝10時。早朝のデッキウォークが日課のお客様の中には、9時の最終帰船に間に合うように街を歩いてきた方も多いのではないでしょうか。ともあれ、見どころ多いテージョ川の出航風景を青空の下で見られるのはラッキーです。シャッターチャンスと目して来たに違いないヘリコプターに、思わず皆さん手を振ります（写真上）。

大航海時代に多くの船の出航地となったリスボンだけに、それを記念する見どころが河畔に続きます。写真左下はベレンの塔。そして右下の「発見のモニュメント」は高さが52メートルある巨大な碑。エンリケ航海王子の没後500年を記念して作られた石碑で、群像の先頭で帆船を手に行っているのがその人です。

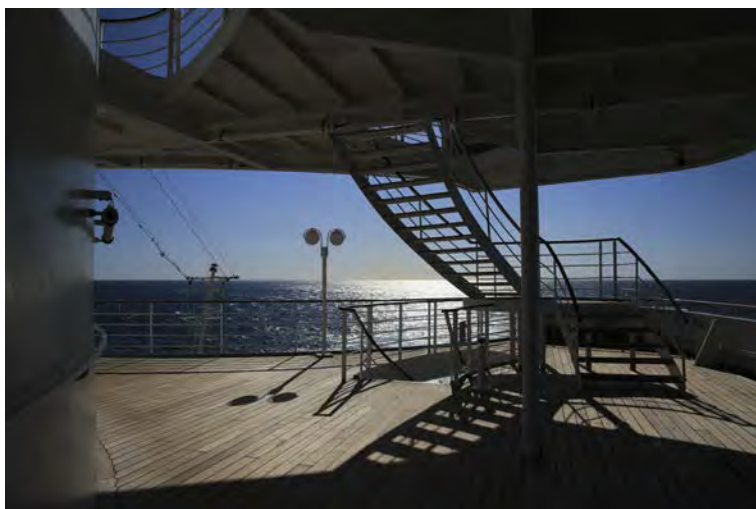
ちょうどデッキでお隣だったお客様が冗談混じりに「王子の顔が見てみたいわ」と仰っていたので、像が大きすぎて岸边からは見られない、王子の正面からの姿を撮ってみました。どうです、なかなかの美男子ではないですか？ さて、飛鳥IIは大西洋に出たあと北へと舵を切り、いまは明後日5月5日のビルバオ入港を目指して航行しています。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

大西洋からビスケー湾へ

Date : 2018/05/04 緯度 : N 43度 54分 経度 : W 8度 31分 天気 : 曇り 気温 : 13.0度 速度 : 15.9ノット
海域 : 北大西洋 寄港地 : 終日航海日



昨夜はいくぶん波があったものの、小久江キャプテンの朝の船内放送によれば「昼ごろにはイベリア半島を回り込み、強風域から外れる予想」。その通りに海は次第に穏やかになってゆき、午後には船尾方向からの強い日差しがプロムナードデッキを鮮やかに照らしていました。見事な陰影に、思わずシャッターを切りました。

終日航海日の各種教室は相変わらずの充実ぶりで、きょうも沖縄伝統空手教室、一色伸幸「作文教室の講評会」、社交ダンス教室、ダイニングのスタッフによるウィスキー教室等々が船内新聞のスケジュール表を賑わせています。フラ教室はこのクルーズ前半の総仕上げ。名曲『ブルーハワイ』を一曲通して踊っていました（写真左下）。

また、午前中に空手教室を担当した知念賢祐さんが、夜にはギャラクシーラウンジに登場（同右下）。「欧州に渡った琉球空手の魅力とは…」と題されたショーで空手の原点とされる沖縄空手の歴史や思想を紹介し、お弟子さんとともに型の演武もしてくれました。息遣いや技のキレまで伝わって、音楽系のショーとはひと味違う個性的な魅力を体験できました。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

バスク地方の名物オンパレード

Date : 2018/05/05 緯度 : N 43度 20分 経度 : W 3度 1分 天気 : 曇り 気温 : 15.0度 速度 : 13.0ノット
海域 : - 寄港地 : ビルバオ



今朝8時、飛鳥IIはスペイン3つ目の寄港地ビルバオ港に到着しました。港は正しくはビルバオ郊外のゲチョという町にあり、ここには1893年築の世界最古の運搬橋・ビスカヤ橋が架かっています（写真上）。停泊中のデッキからも遠望できるこの運搬橋、たもとまで行くと、ワイヤーで吊られたゴンドラが人と車を乗せて行き来していました。

午前中の半日観光ツアーではこの運搬橋に加えて市内の見どころを見学。高さ12メートルもの“大きな仔犬”「パピー」が番犬のように座るビルバオ・グッゲンハイム美術館（同左下）、旧市街の大聖堂、バスク博物館を訪問しました。ツアー終了後には離班も可能だったので市内中心部でバスを降り、筆者はお昼時の街へと歩いてゆきました。

目的はバスク地方の名物料理ピンチョスです。旧市街のヌエバ広場を囲むピンチョス店はどこも大繁盛。立食のカウンターまで満席でした（同右下）。「ピンチョ（串）」の言葉どおり串刺しの、あるいはバゲットに載る凝ったミニミニ料理は種類豊富で実に美味。きょうが試合の地元サッカーチームの応援団で賑わう中、地元の味と雰囲気を楽しみました。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

プールデッキで飛鳥祭り

Date : 2018/05/06 緯度 : N 47度 10分 経度 : W 5度 7分 天気 : 晴れ 気温 : 14.0度 速度 : 14.1ノット
海域 : 北大西洋 寄港地 : 終日航海日



朝の時点で北緯46度。緯度としては日本を越えてサハリンと同じくらいの北方に飛鳥IIはいます。一般には荒れがちで知られるビスケー湾ながら周囲は至って穏やかで、「無事、揺れずに通過できそうです」と小久江キャプテンが言っていました。暖流のお陰で緯度から想像するほどは寒くない……とはいえ、やはりデッキはそこそこの肌寒さ。

あるクルーが「船乗りにとって季節は緯度で変わるもの」と話したように、少し前に常夏の海を旅した我々としては確かに北に上るにつれて季節が逆戻りする印象です。そんな世界一周クルーズだからこそ、イベントや教室は、季節も国も軽々飛び越えるのかもしれませんが。きょう午後に催されたのは、譚彦彬ゲストシェフによる中国料理教室でした（写真左下）。

そして夕方のメインイベントは「2018年世界一周クルーズ 飛鳥祭り」（同上）。よさこい、阿波おどり、ねぶたと日本の三大祭りを一度に楽しむ飛鳥IIならではのお祭りです。何日も前から有志のお客様たちが船内各所に集って練習を重ねてきただけに、どの踊りも華やかで迫力いっぱい。しばしビスケー湾の涼しさを忘れて、日本の踊りに酔いしれました。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

青空のデッキを楽しむビアガーデン

Date : 2018/05/07 **緯度** : N 50度 21分 **経度** : W 0度 42分 **天気** : 晴れ **気温** : 15.0度 **速度** : 14.3ノット
海域 : 北海 **寄港地** : 終日航海日



ユーラシア大陸を回り込んでイギリス海峡を東へ航行している飛鳥II。まだまだヨーロッパの寄港地が続きます。今朝のコンパスルームではメタルビーズアクセサリー教室が予約のお客様で満席（写真右下）。倉橋潤子・智太郎両先生が教えるこの教室は船旅らしい高級感で毎回人気。ご自身に、そして娘さんたちにと複数作る方もいらっしゃいました。

また、ランチタイムはいま乗船中のドイツ歌舞のエンターテイナー、バイエルンボーイズの演奏で盛り上がる「飛鳥ビアガーデン」が楽しかったですね。この先のハンブルク寄港にちなんでドイツの雰囲気先取りしたイベントで、お客様が「やっぱり船旅はデッキでビールが最高だよね」と仰る通り、海と空とに囲まれた気持ちよさが格別でした（同上、左下）。

客室テレビの航路図で確認すると、船は夕方5時半を過ぎたころにドーバー海峡の最狭部を通過したようです。周囲にはたくさんのお船の船影もあり、多くが「英仏連絡船」と記してありました。そんな海の要衝を経て、飛鳥IIは明日のアムステルダムに向けて順調に航行しています。海は時にほとんどベタナギに近く、穏やかさを保っています。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

運河と緑の美しい街で

Date : 2018/05/08 緯度 : N 52度 23分 経度 : E 4度 55分 天気 : 晴れ 気温 : 22.0度 速度 : 14.4ノット
海域 : - 寄港地 : アムステルダム



オランダのアムステルダムは、街じゅうに運河が張り巡らされた緑豊かな首都。まばゆい陽射しが順光ならば空を見事な青色に、逆光ならば木々の緑を輝きに満ちた黄緑色で描き出してくれます。油彩や素描、エッチングで人物を描き「光と影の画家」と称されたレンブラントがかつて暮らしたのも納得できる、美しい光に包まれた都です。

今朝9時に中央駅近くのクルーズターミナルに接岸したあと、筆者はすぐさま午前中のツアー「運河めぐりとアムステルダム車窓観光」に出掛けました。背が低く細長いボートで運河に出るとさっそく兩岸を煉瓦の建物と緑が囲みます。ボートは迷路のような川面を右へ左へ折れ、その度に景色はがらりと変わり、名物の跳ね橋なども見えました。

実は今晚だった飛鳥IIの出航が余裕をもって明朝に変更されました。オーバーナイトの停泊になったため、日没が午後9時過ぎの明るい街で夕ご飯も楽しめます。筆者は友人と連れ立って、トラムが行き交う通りに面したステーキハウスに着席。店主の女性が「これが絶対よ」と勧める地ビールをテラス席で飲みながら、美味しいお肉に舌鼓を打ちました。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

干拓の国オランダを実感

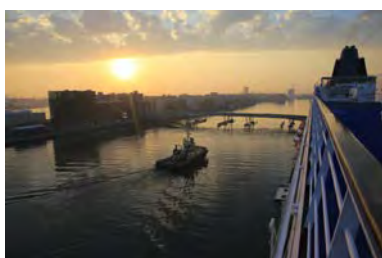
Date : 2018/05/09 緯度 : N 52度 56分 経度 : E 4度 18分 天気 : 晴れ 気温 : 12.0度 速度 : 11.9ノット
海域 : 北海 寄港地 : 終日航海日



昔から干拓で土地を確保してきたオランダだけに、昨日のツアーガイドさんによれば「アムステルダムも海面より2～3メートル低い」のだとか。ここアムステルダムの出航が昨夜から今朝に変更となったのは、そんな干拓の国を実感するためでもあります。今朝のハイライトは海と運河を仕切る重要な設備、ロック（閘門）の通過です（写真上）。

珍しいロックが開く様子をひと目見ようと、船首側にはたくさんのお客様が集まりました。飛鳥IIが通ったのは4つあるロックのうち最大の、長さ400メートル、幅49.5メートルのもの。隣では5つ目のロック建造のための工事が進んでいます。アムステルダム中央駅直下のクルーズターミナルからここまで、すべての水路が人の手で掘られたものだそう。

船がロックに収まって10分ほどで注水され、前方の、さっきまで上を車が通っていた橋を兼ねたロックは、何と引き戸のように右にスライドして開きました。出航時、朝焼けの橙色に染まっていたアムステルダムの美しい運河や街（同下2点）は、こうしたロックのお陰で成り立っていたのですね。なかなか体験できない、貴重な社会科見学となりました。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

祝日のハンブルクを歩く

Date : 2018/05/10 緯度 : N 53度 32分 経度 : E 9度 59分 天気 : 晴れ 気温 : 23.0度 速度 : 12.9ノット
海域 : - 寄港地 : ハンブルク



ドイツ最大の港湾都市ハンブルクはエルベ川の河口から約100キロ上流に位置します。飛鳥IIは北海からこの川を遡り、今朝7時半を少し過ぎたところで右180度反転。クルーズターミナルに右舷づけで着岸しました。入港時にはちょうど旧市街の方角から昇った朝日が美しく、歓迎の放水とあいまって見事な眺めとなりました（写真左下）。

きょうの筆者は午前中の「ハンブルク半日観光」に同行。世界遺産指定の商館チリハウス、市庁舎広場、そして煉瓦造りの建物が運河沿いに延々続く倉庫街シュパイヒャーシュタット（同右下）などを訪問しました。きょうは祝日で多くの商店がお休みです。だから街の規模に比べて意外なほど静かでのんびりした雰囲気のもと、ゆったり観光ができました。

この日は接岸場所の1キロほど下流、駅の近くで開港祭が行われていて、ソーセージやビールの屋台などが出ていました。筆者も午後はちらっとそこに出掛けて屋台の味をつまみ食い。地元の人たちも思い思いのスタイルで休日を堪能しているようでした。ビール片手に盛り上がる一団がいる一方で、飛鳥IIが停泊する静かな水辺で談笑する人たちもいました。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

風の北海をゆく

Date : 2018/05/11 緯度 : N 54度 55分 経度 : E 5度 27分 天気 : 晴れ 気温 : 11.7度 速度 : 13.5ノット
海域 : 北海 寄港地 : 終日航海日



昨夜ハンブルクを出航した飛鳥IIはエルベ川をおよそ100キロ下って再び北海に出ています。船内放送によれば正午時点で北緯54度55分。デッキはそれなりに肌寒いものの、風速はわずか2メートル。緑がかった風の北海が吸い込まれるような美しい景色を作り出していました。思わずカメラを手にして船尾付近で写したのが上の1枚です。

ヨーロッパ区間の大半をこなした今、船内では講師が交代して気分を一新する教室もあります。例えば小長井克（こながい まさる）先生にバトンタッチした囲碁教室もそのひとつ。風だからでしょう。コンパスルームは静けさに包まれていて、中級教室の後半にお邪魔すると手元の碁石をつまみ上げるさらさらという音だけが響きわたってました（写真右下）。

教室の奥の方では指導碁を受けるお客様、手前には真剣な表情で対局する方々。ごくたまに「うーん」と唸って次の一手を思案する声……。終始穏やかに流れたきょう1日、その仕上げはクラシックやオペラなどをベースに幅広いジャンルを歌うYuccaさんのコンサートです。その透き通った伸びやかな美声で、会場のお客様を魅了してくれました（同左下）。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

スコットランドの小さな村

Date : 2018/05/12 緯度 : N 56度 1分 経度 : W 3度 26分 天気 : 晴れ 気温 : 14.5度 速度 : 15.5ノット
海域 : - 寄港地 : ロサイス



朝起きて船首のデッキに出るとちょうど巨大な赤い鉄橋が目前に迫っていました（写真右下）。これは1890年築のフォース鉄道橋で、その後ろには1960年築の道路橋、さらには昨年できたばかりの斜張橋と続いています。飛鳥IIは19、20、21世紀と3つの時代の橋を煙突ぎりぎりでくぐり抜けてきょうの港、ロサイスに接岸しました。

ロサイスといえばスコットランドの首都エジンバラへの玄関口。エジンバラ城などの観光がここ発の旅ではメジャーなものの、筆者はすでに訪問済み。が、飛鳥IIのツアーにはそのようなりピーターの方々に向けた個性的な旅もきちんと用意されています。今回はそうした旅のひとつ「スコットランドの素朴な村を訪ねて（午前）」に参加してみました。

結論から言うとこれが最高！ 予報に反して見事に晴れた青空のもと、中世の趣が残る素朴なクーロス村の石畳を皆で散策。希望者のみとしていた600メートル歩いて上る丘上の修道院跡へも元気に全員で行き、村の中心部では豪商の家クーロスハウスの美しい庭から川を一望（同上）。小さいけれど宝箱を開けたように美しい、素朴な村を満喫できました。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

ゲストシェフの中国料理

Date : 2018/05/13 緯度 : N 58度 40分 経度 : W 3度 32分 天気 : 霧 気温 : 9.2度 速度 : 13.7ノット
海域 : 北海 寄港地 : 終日航海日



昨夕にロサイスを出航した飛鳥IIはイギリス本土を反時計回りに回り込むようにして、次の寄港地ダブリンを目指しています。11時半ごろにはイギリス最北端のダンネットヘッドを通過しましたが、霧で視界はほぼ真っ白。かすかに灯台が視認できる程度でした。しかしその後は快方に向かい、午後には左舷にきれいな海岸線が見えました（写真左下）。

実はちょうどこのあたりが、今回の世界一周クルーズで飛鳥IIが航行する最北エリア。外の空気はかなり寒くて冬のように感じます。とはいえ船内は変わらず穏やかです。きょうは久しぶりのインフォーマルなので、夕方5時前後には着飾ったお客様で賑わい始めました。しかも、今宵のディナーはゲストシェフによる中国料理です。

腕をふるってくれたのは広東料理の名店・赤坂璃宮の譚彦彬オーナーシェフ。くらげ、叉焼、鶏肉の特製ソース煮、酢野菜からなる前菜に始まるディナーはどれも絶品。フカヒレ入り蒸しスープ（同右下）やメインの豚バラ肉の黒酢煮込み（同上）、デザートの新米酒プリンも美味しかったですね。船旅の贅沢さを改めて感じさせてくれた夜でした。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

カーリングの石の島

Date : 2018/05/14 緯度 : N 55度 17分 経度 : W 6度 27分 天気 : 曇り 気温 : 13.0度 速度 : 12.2ノット
 海域 : 北海 寄港地 : 終日航海日



イギリス本土を回り込んで南に舵を切った飛鳥IIは、右舷側にアイルランド島を見るかたちでアイリッシュ海へと進んで行きます。11時半ごろ、まず最初にアイルランド島のイギリス領北アイルランドにある柱状節理で有名な世界遺産ジャイアント・コーズウェイを遠望。その後、午後にはアルサ・クレイグ島にも寄るとの放送がありました。

見えてきたのは写真上、ご覧の不思議なかたちの島です。これがアルサ・クレイグ島で、キャプテンの放送によれば「カーリングの石に使う花崗岩の産地」。硬くて良質の石が採れるそうですが、今では鳥たちの楽園となった無人島で、採掘は環境への配慮から20年に1度だけとのこと。話を聞くうちに、だんだん島の形自体がカーリングの石に見えてきます。

一方、船内では個性的な教室もありました。思わず童心に返る紙飛行機教室（写真左下）のほか、クルーズスタッフの神山（こうやま）万里奈さんの「歌って覚える英語教室」（同右下）は要注目。この英語教室、歌はもちろんのこと、発音が隣の単語とつながる“リンキング”を丁寧に教えてくれるのがいいところ。北米東海岸の観光がいっそう楽しくなりそうです。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

ロングルームとギネスビール

Date : 2018/05/15 緯度 : N 53度 21分 経度 : W 6度 13分 天気 : 曇り 気温 : 18.0度 速度 : 11.0ノット
海域 : - 寄港地 : ダブリン



今朝8時半に水先案内人を乗せたあと、船底からのクリアランスがわずか3メートル程度という浅い港内を、飛鳥IIはゆっくりと進んで行きました。港は狭く、通路のように奥へと続いています。9時半ごろ、その最奥まで直進してから右後方にバックして、脇の岸壁に左舷づけ出船で接岸しました。街へはここから数キロあります。

きょうの筆者は「ダブリン半日観光とケルズの書（午後）」のツアーに同行。まず訪れたトリニティカレッジの旧図書館では、精緻な装飾写本『ケルズの書』を鑑賞しました。ガイドさんによると「ふだんは展示に近寄れないほど混む」そうですが、ラッキーなことにさして並ばず、1000年以上昔に描かれた写本を間近で見ることができました。

この図書館は旧館2階「ロングルーム」の建築美も有名です（写真上）。18世紀築、19世紀にアーチ天井へと改装された壮麗な部屋には約20万冊を収蔵しているそう。見学後は聖パトリック大聖堂で写真を撮ったり、名物・ギネスビールのストアハウスで試飲を楽しみ、豊富な展示を見て回ったり……。半日ながら盛りだくさんのツアーを楽しみました。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

最初のジェダイ寺院へ寄り道を

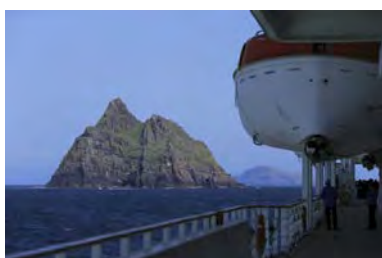
Date : 2018/05/16 緯度 : N 51度 27分 経度 : W 10度 10分 天気 : 晴れ 気温 : 11.8度 速度 : 19.0ノット
海域 : 大西洋 寄港地 : 終日航海日



昨夜遅くにダブリンを出航し、飛鳥IIはいよいよヨーロッパを後にして北米東海岸へ、6日間の大西洋横断へと出発しました。さて、きょうのフォトエッセイ、不思議なタイトルに気づいた方もいるでしょう。「最初のジェダイ寺院」とはもちろん架空の話で、あのハリウッド映画『スターウォーズ 最後のジェダイ』で主人公ルークが姿を隠した場所のこと。

そのロケ地がアイルランドの西の果てに浮かぶここ、スケリッグ・マイケル島（写真上・左下）。もはやお馴染み、小久江キャプテンのサービス精神が発揮されて、曰く「最後の悪あがきではないですが、もうひとつ見どころに寄ってから大西洋横断を」ということで、そうそう行けないこの隠れた名所を船上から間近に望むことができました。

丘上に並ぶお椀型の屋根は、本当はケルト人が建てた修道院の跡。石積みの建物や島の形。映画を見た方ならあの名場面をすぐさま思い起こせることでしょう。飛鳥IIは島を見渡したあとに大きく転回し、いよいよ大西洋へと舵を切りました。晩はプラウディア・グラント・オーケストラのコンサート（同右下）。きょうも楽しい1日となりました。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

指で描くパステルアート

Date : 2018/05/17 緯度 : N 49度 30分 経度 : W 20度 49分 天気 : 曇り 気温 : 13度 速度 : 18.1ノット
海域 : 大西洋 寄港地 : 終日航海日



大西洋横断2日目、飛鳥IIは順調に西へと航行しています。きょうは終日曇りの予報ではありますが、外気温は徐々に上がってきているようです。終日クルーズをのんびり楽しめるこの日は、新たに始まったパステルアート教室にお邪魔してみました。教えてくれるのはロサイスから乗船してきた三木亜希子先生です（写真左下）。

ハードパステルを茶こしのような網で粉にして画用紙に振りかけ、それを指先でこすって馴染ませながら描きます。きょうのお題は風景画。どうやらグラデーションの作り方がポイントのよう。「大地は下を濃く、上を薄く。空は上に向かって濃くすると高さが表現できますよ」。初めての方も案外すぐにコツが飲み込めて、どんどん描き進めています。

色遣いは人それぞれ。夕暮れ時、淡いラベンダー畑、たくさんの雲が浮かぶ様子など、見事に個性が出ています。そして晩はというとそれこそ超個性派の、ボカスカジャンの脱線音楽ショーが要注目（同右下）。おかしい音楽の数々に会場は笑いっぱなし。代表作・アイス「ガリガリ君」CMソングのロングバージョンまで、たっぷり笑わせてもらいました。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

久しぶりのフォーマルナイト

Date : 2018/05/18 緯度 : N 46度 59分 経度 : W 31度 46分 天気 : 曇り 気温 : 14.0度 速度 : 18.6ノット
海域 : 北大西洋 寄港地 : 終日航海日



終日航海が続く日は船内新聞『アスカデイリー』のスケジュール表を各種教室やイベントが埋めていて、きょうも午前中から幾多の教室がありました。筆者が担当する写真教室は全10回中の第5回。「シャッターチャンスに撮る方法」と題して45分間お話しさせて頂きました。相変わらず多くの方々にご参加頂けて、担当講師として嬉しく思います。

またユニークなところでは写真左下、クルーズスタッフが教える「折り紙の時間」もありました。教室やイベントは常々硬軟取り混ぜられているので、気分によって好きなところへ参加できます。さて、そんなきょう、『アスカデイリー』の表紙を見ると久しぶりに「ドレスコード（今夕の服装）：フォーマル」とありました。

ヨーロッパの寄港地が一段落したちょうどいいタイミング。船は少し揺れ気味かなと思いましたが心配には及ばず、皆さん着飾ってアペリティフタイムを楽しんでいるようでした（写真上）。ショーはピアノの西川悟平さん。演奏に加えてニューヨーク生活のエピソードを披露するトークも拔群。フォーマルナイトにふさわしい華やかさでした。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

阿部パティシエの飴細工

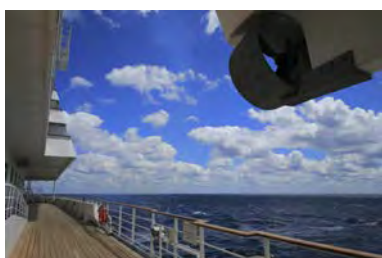
Date : 2018/05/19 緯度 : N 44度 41分 経度 : W 41度 18分 天気 : 晴れ 気温 : 7.2度 速度 : 17.6ノット
海域 : 北大西洋 寄港地 : 終日航海日



大海を渡る終日航海日こそ、実はふだんと異なるイベントが見られる機会。例えばブリッジオープン（操舵室見学）などがそうですし、きょうレセプション前のアスカプラザで午前中から午後にかけて行われた飴細工のデモンストレーションもまさにそれ（写真上・右下）。お客様の前で見事な腕前を披露してくれたのは本船パティシエの阿部竜馬さん。

飴細工には和洋あり、見せてくれたのはフランス発祥とされる洋の飴細工。阿部さんはかつてフランスに渡ってお菓子の修業を重ねた方です。飴はとりわけ湿度の影響を受けやすく、作業はまさに繊細そのもの。「きょうは青色がよく出たので、それをベースに作って行こうと思います」。ヘッドセットでのトークを交えながらもその手は休むことはありません。

見学のお客様は時に応じて質問したり写真を撮ったり。「私はずっとやっていますから、飽きたらご飯食べに行ってくださいね」と阿部パティシエが冗談を言うように、作業はお客様の前だけでもお昼を挟んで延べ3時間半にもなりました。できあがった見事な作品はフォーシーズン・ダイニングルームの入口に飾られて、ディナーに華を添えてくれました。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

クジラとタイタニック

Date : 2018/05/20 緯度 : N 43度 3分 経度 : W 50度 58分 天気 : 晴れ 気温 : 8.3度 速度 : 17.4ノット
海域 : 北大西洋 寄港地 : 終日航海日



大西洋横断5日目の朝、飛鳥IIは西経49度50分付近を航行していました。ここから南へ80マイル（約150キロ）ほどの場所がタイタニックが沈んだところ。船上では左舷側に相当するその海を見ていると、ちょうどクジラの群れが現れました。キャプテンが定時の放送を急遽10分早めて教えてくれて、写し止めることができました（写真上）。

日中、当欄筆者は最近乗船した講演者や講師の方々のポートレイトを撮るために、船内各所をはしごしました。10時からハリウッドシアターで「アメリカの大学で教えてみると：家族社会学を例として」を講演したのは賀茂美則先生（同左下）。子供の成長段階と夫妻それぞれの結婚満足度の調査など、思わず「なるほど」と唸ってしまうデータが興味深かったです。

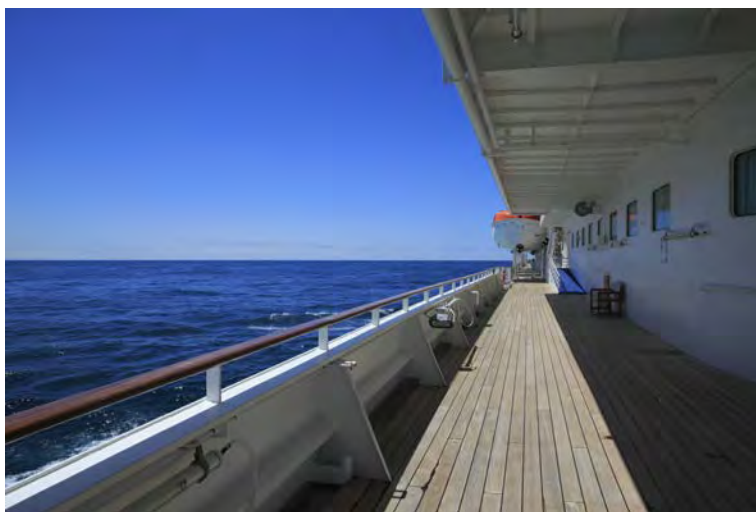
また午前中にカードルームで中級者向けに、午後には11デッキ船尾のリドカフェで初心者向けにコントラクトブリッジ教室を開いていたのは写真右下、瀬戸口宣子（左）・塚本千寿子（右）の両先生。教室前の準備時間の笑顔です。このあと後ろの席がいっぱいになるほどのお客様が参加して、にぎやかな初心者クラスとなりました。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

楽しさいろいろの航海日

Date : 2018/05/21 緯度 : N 43度 32分 経度 : W 58度 47分 天気 : 晴れ 気温 : 15.0度 速度 : 13.8ノット
海域 : 北大西洋 寄港地 : 終日航海日



次なる寄港地カナダのハリファックスまでは残すところあと1日。朝、デッキに出るとご覧の快晴でした。昨日の真夜中あたりは少々波があったというものの、おそらく就寝中で気づかなかった方も多いのではないでしょうか。きょうも終日航海日となる船内では定番教室からユニークなイベントまでさまざまな催しが行われていました。

定番から挙げるならナンタケットバスケット教室（写真左下）。ボストン郊外のナンタケット島に伝わる籐かごの教室です。鯨油を入れる樽に籐を編みつけたのがその起源。捕鯨で栄えた島は避暑地になり、今ではバスケットは用の美を備えた高級品になりました。八代江津子先生が、この日は初心者にも手軽なプレスレット作りを教えてくださいました。

一方ユニークなところではお客様参加の「飛鳥IIカラオケ大会 決勝戦」も（同右下）。予選を勝ち抜いた10名の方がギャラクシーラウンジの舞台上で自慢の歌声を披露してくれました。採点はいまやテレビ番組などでもお馴染みのカラオケマシンによる方法。個性豊かなそれぞれのパフォーマンスに、客席から惜しみない拍手が送られていました。



Cruise：2018年世界一周クルーズ（102）

穏やかなカナダの港湾都市

Date：2018/05/22 緯度：N 44度 38分 経度：W 63度 34分 天気：曇り 気温：13.8度 速度：13.8ノット
 海域：- 寄港地：ハリファックス



飛鳥IIは6日間の終日航海を経て、今朝早くに北米海岸最初の寄港地ハリファックスに近づきました。早朝5時にカーテンを開けると既に水平線には鮮やかな橙色のグラデーションがひと筋あって、慌てて起きだし船尾へ急ぎ、スポーツデッキから朝焼けを写し止めました（写真左下）。大西洋横断のゴールにふさわしい美しい1日の始まりです。

さて、初寄港となるここカナダのハリファックス。街の名前はかつて入植したイギリス人・第2代ハリファックス伯に由来します。カナダらしい整然とした都市ですが随所に煉瓦造りの建物や往時を偲ばせる遺構もあります。芝生の丘上に広がるハリファックス・シタデル（同上）は、1749年にイギリス軍がフランスに対抗するために作ったもの。

坂の街を歩いて上り、砦に入ると黒光りする大砲が沖に向かって置かれていました。地上からでは分かりませんが、砦は星型をしているそうです。さらには、もうひとつの見どころ大西洋海洋博物館（同右下）でタイタニックの展示を見たり、名物のロブスターや地ビールを味わったり。21時とゆったりめの最終帰船時間まで、存分に街を楽しみました。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

ゲストシェフの会席料理

Date : 2018/05/23 緯度 : N 44度 1分 経度 : W 64度 24分 天気 : 曇り 気温 : 11.9度 速度 : 10.6ノット
海域 : 北大西洋 寄港地 : 終日航海日



ハリファックスを出た飛鳥IIはノバスコシア半島をゆっくりと回り込む航路をとっています。朝8時50分の放送と時を同じくして、右前に紅白の灯台を望む場所までやってきました。昨日ツアーで行かれた方も多いであろう、ペギーズコープの灯台です。ロブスター漁の小舟が仕掛けを下ろしているので遠望にとどめ、船は先へと進みます。

さて、今夜はゲストシェフの和食の日。「総本家 にしんそば 松葉」の松野泰治シェフ (写真左下) は先日の昼食でも伝統あるにしんそばを作ってくれましたが、腕を振るうのはそれだけではありません。今夜の「松葉会席」もそうなのです。京都の名だたる老舗の食材をふんだんに用いて作るこの会席を楽しみにしていた方も多いはず。

写真上は煮もの椀。鴨丸しんじょ、人参・柚子・生ゆば巻き。すり身は創業弘化元年の「いづ萬」より。また右下の揚げ物は百合根団子、えび、アスパラ。添えた黒七味は創業元禄16年の「原子郭」、抹茶塩は「祇園辻利」から。いずれも創業150~300年近い老舗の食材を使っています。味はもちろん写真の通り。美味しい会席を心ゆくまで楽しみました。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

小さな町のローカル感

Date : 2018/05/24 緯度 : N 45度 16分 経度 : W 66度 4分 天気 : 晴れ 気温 : 13.5度 速度 : 12.8ノット
海域 : - 寄港地 : セントジョン



今到着いたセントジョンは世界一の干満差でギネスブックも載る場所ですが、それ以外の面においては正直さほど華やかではなく「カナダの小さな港町」といったところでしょうか。町は大半が接岸場所から歩ける範囲内ですし、このクルーズにしては珍しくオプションツアーの設定もありません。皆さんめいめい、町を散策することになります。

では何もないのかというと案外そうでもありません。デッキから町を見ていたら、目の前の高校で何やら着飾った学生たちが撮影会をしていました。慌てて出て行って撮らせてもらったのが上の写真。聞けば、卒業式の事前撮影で女子生徒はホワイトドレス、男子生徒はダークスーツ指定だそう。真っ赤なバラはみんなに一輪ずつ配られたもの。

それにしてもカナダの高校生は大人びていますね。まるで映画のワンシーンのような素敵な場面にお邪魔させて頂いたあと、筆者は町の主な見どころを歩いて回りました。シャトルバス発着地でもある1876年に誕生したシティ・マーケット（写真左下）やトリニティ教会（同右下）等々。小さな町の趣をしみじみ楽しむ散策でした。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

洋上の運動会

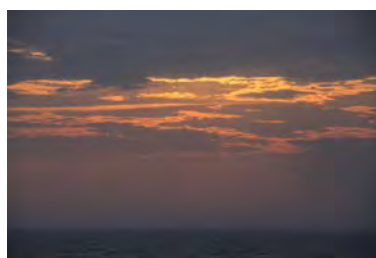
Date : 2018/05/25 緯度 : N 42度 25分 経度 : W 67度 17分 天気 : 晴れ 気温 : 11.3度 速度 : 9.9ノット
海域 : 北大西洋 寄港地 : 終日航海日



昨夕にセントジョンを出航して中1日で次なる寄港地ボストンを目指しています。世界的にも珍しいセミクジラの大きな保護区があるそうで、船は大きく南に迂回してから西へ針路をとるとのこと。そんな終日航海日のきょうは、過日天候不良で延期になった「アトランティック運動会」がプールデッキで催されました。

休暇から戻ったばかりの小川クルーズディレクター（写真上・左端）を始めとするクルーズスタッフを中心として、紅白2チームに分かれたお客様がさまざまな競技で盛り上がりました。上の写真は太玉送り、左下は玉入れ。ほかにもオリジナルのリレーなど。まだ少し肌寒さがあるなか、どなたも楽しまれていたようです。

教室や行事は午前中に集中し、午後は運動会を除けば社交ダンスくらいとやや控えめ。ゆったり客室で過ごした方も多かったかもしれません。かく言う筆者もそのひとり。窓外の景色をぼんやり眺めていると、夕方、西の空に不思議なかたちの雲が輝いていました。空は毎日違うんだなあ……。そんな実感も洋上ならではのようです。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

ボストンの名所と名物を

Date : 2018/05/26 緯度 : N 42度 20分 経度 : W 71度 2分 天気 : 晴れ 気温 : 29.5度 速度 : 9.3ノット
 海域 : - 寄港地 : ボストン



ひっきりなしに飛び立つ旅客機の下をくぐるようにして、今朝7時、飛鳥IIはボストンのブラックファルコン・クルーズターミナルに船首からそのまま入る「入り船」で着岸しました。きょうは2日間の停泊となるボストンの1日目。筆者はまずはシャトルバスで街に出ました。着いた場所は名所のひとつ、クインシーマーケットです。

ボストンと聞いて思いつくものはさまざまですが、船内で話題になったひとつがクラムチャウダー。なのでマーケット内の人気店で筆者もさっそく味見。一番人気のニューイングランド・クラムチャウダーは具材どっさりで美味しかったです。午後はガス灯がともるビーコンヒルの散策へ。情緒あふれるエーコンストリートはご覧の賑わい（同上）。

さらに晩には、楽しみにしていたクルーズ特典「ボストン美術館貸切鑑賞」も（同右下）。飛鳥IIのお客様だけで貸し切ってゴッギャンの代表作『我々はどこから来たのか 我々は何者か 我々はどこへ行くのか』、ルノアールの『プーヅヴァルのダンス』、ミレーの『種まく人』などを鑑賞しました。筆遣いまで感じられる、心に残る見学でした。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

老舗レストランとケネディ生家

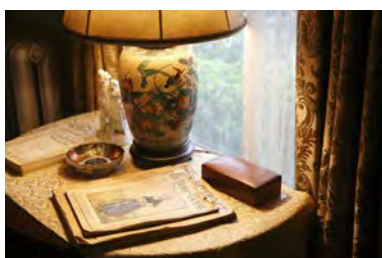
Date : 2018/05/27 緯度 : N 42度 20分 経度 : W 71度 2分 天気 : 曇り 気温 : 13.5度 速度 : -ノット
 海域 : - 寄港地 : ボストン



オーバーナイトの停泊でボストン2日目の朝を迎えました。きのうの入港時、遠目に街が見えてきた時にお客様が「久しぶりの大都会ね」と仰った通り、ボストンはとても大きな街です。見どころも興味に応じて数限りなく存在します。そんな中、きょうの筆者はピンポイントの見どころを繋いで見に行く自由旅行に出掛けてみました。

まずは京都から出店した日本発のコーヒー店に立ち寄って、次には多くの観光客が目指す1826年創業の老舗レストラン、ユニオン・オイスターハウス（写真上）へ。屋号にも冠されたオイスター、クラムチャウダー、ロブスターなど、当地名物をお腹いっぱい味わいました。1階のオイスターバーもいいですが、飴色をした木の内装が落ち着く2階もお勧めです。

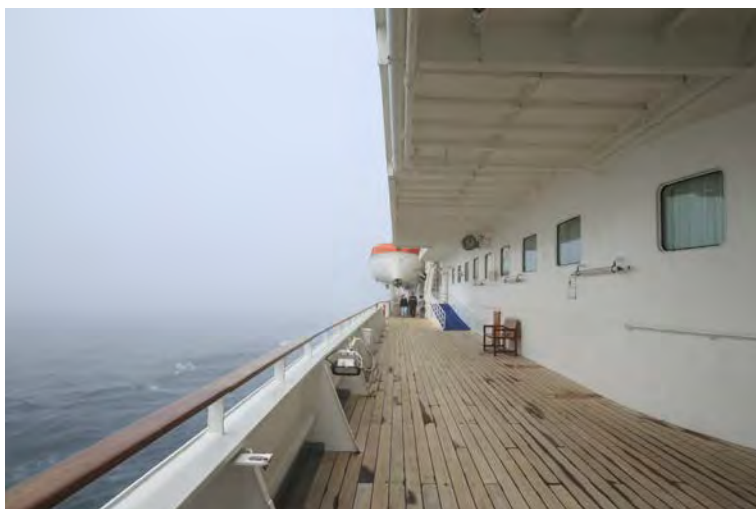
午後はそのレストランにも通ったジョン・F・ケネディの生家へ（写真下2点）。1917年5月29日、彼はこのモダンな民家の主寝室で生まれたそうです。寝室や子供部屋、リビング、バスルームなどは思いのほか質素。「後に起こる出来事も知らず楽しい日々を過ごしていた」と回想する母の言葉が、手渡された冊子に刻まれていました。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

霧の中の汽笛

Date : 2018/05/28 緯度 : N 40度 34分 経度 : W 69度 42分 天気 : 霧 気温 : 11.0度 速度 : 11.1ノット
海域 : 北大西洋 寄港地 : 終日航海日



飛鳥IIは昨夜ボストンを出航し、中1日の航海で明日のニューヨークを目指しています。きょうは朝から霧が出ていて8時50分の定時の放送の際は視界がおおよそ200m、キャプテン曰く「ブリッジウイングから船尾が見えるかどうか」という具合。真っ白で幻想的な景色の中を、それでも船はいつもと同じく順調に進んでいました。

11時半ごろからしばらくは1分に一度汽笛を鳴らす、いわゆる霧中信号を発しながらの航行となりました。ちょうどその時間にプロムナードデッキの左舷側から写したのが上の写真。霧の向こうからも時折かすかに他船の汽笛が聞こえます。真っ青な海や岸辺の絶景もいいけれど、こんな景色も船旅ならではの。時にはいいものだなと思います。

さて、船内での教室も相変わらずの盛況ぶり。フラ教室（写真左下）では『アロハオエ』の復習に続けて新曲『タイニーバブル』に挑戦。また、革製ティッシュケース作り教室（同右下）はカットされた革を縫い合わせる細かい作業だったものの、3人のクルーズスタッフが席間を行き来して質問に答えたりお手伝いをしたりで、どなたも楽しく作っていました。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

光降り注ぐ摩天楼の狭間で

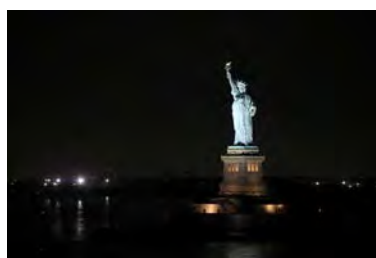
Date : 2018/05/29 緯度 : N 40度 46分 経度 : W 74度 0分 天気 : 晴れ 気温 : 28.0度 速度 : 11.3ノット
海域 : - 寄港地 : ニューヨーク



今朝の夜明けは5時30分、あたりは一面の霧。飛鳥IIは大きな橋をくぐり抜けて6時半前には自由の女神を左舷に、続いてマンハッタンのビル群を右舷に望んでハドソン川へと進んでゆきました。摩天楼の上端が霧の中に溶ける幻想的な入港です。留め置かれて博物館になった空母の隣の栈橋に、船首から入る「入り船」で静かに着岸しました。

心配だった天気もその後急速に快方に向かい、多くの方が街に出た頃にはご覧の晴天。ツアーのお客様も自由行動の方々も、ニューヨークでの観光やお買い物、グルメなどを存分に楽しまれたことと思います。筆者は街の雰囲気を満喫すべく歩いて出掛け、まずはタイムズスクエア（写真上）まで行ったところでひと休み。

セントラルパークでは都会のピクニックを気取って敢えて屋台でホットドッグを購入し、公園のベンチで食べました。あふれる緑と陽射しの中を白い馬車が蹄の音を響かせて通る、大都会とは思えないのどかさです（同左下）。また、出航時にはビルの間から顔を覗かせた月が素晴らしく、自由の女神（同右下）とともに私たちを見送ってくれました。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

波に遊ぶイルカ

Date : 2018/05/30 緯度 : N 38度 3分 経度 : W 74度 21分 天気 : 霧 気温 : 20.0度 速度 : 12.3ノット
 海域 : 北大西洋 寄港地 : 終日航海日



昨夜ニューヨークを後にして、中1日の終日航海日。昨日の朝と同様に、今朝もあたり一面が霧に包まれていました。9時半過ぎには右舷、そして続いて左舷にもイルカの群れが現れたとの放送が……。

「近いところを泳いでいます」と聞いて真下を覗くと、いました、いました。慌ててカメラを手にして写したのが上の写真です。

いちクルーズ写真家の経験則に過ぎないですが、多くのイルカは舐先がつくる波で遊ぶ習性があると感じます。きっと小さな海面の波よりも、船が作る大波の山から飛んだほうが空中高くに飛び出せると知ってのことでしょう。そんなことを一瞬で思い出してレンズを向けたその先に、まさに2匹のイルカが飛びました。

1日の始まりからしてそんな風ですし、きょうも皆さん船上生活を堪能中。午前中には飯室はつえ先生によるセラーズバレンタイン教室の説明を兼ねた講演（写真右下）などが、また晚には箏曲家・黒澤有美さんのコンサート（同左下）がありました。オリジナル曲や自ら編曲したというビジュアルディの『四季』等々、型にはまらない演奏が実に素敵でした。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

アメリカの始まるころ

Date : 2018/05/31 緯度 : N 39度 16分 経度 : W 76度 36分 天気 : 曇り 気温 : 23.0度 速度 : 13.6ノット
海域 : - 寄港地 : ボルチモア



ニューヨークからいったん南へ下り、再び北上するかたちで細長いチェサピーク湾を遡って最奥にあるボルチモアに着きました。首都ワシントンまで車で1時間半ほどのこの町は名前こそ日本ではさほど知られていませんが、1797年に誕生したアメリカで最も歴史の古い町のひとつです。

湾に向かって大砲を据えるマックヘンリー要塞はアメリカ国歌が生まれた場所として有名ですし、市内には野球の神様ベーブ・ルースの生家もあります（写真上、左下）。彼の生家には当時の部屋が残るほか、初期に使った貴重なバットの展示もありました。筆者はきょう、それらの見どころを効率よく巡る「ボルチモア半日観光（午後）」に同行しました。

アメリカが誇る大打者の生家を訪ねたことを感慨深く思いながら船に戻ると、晩のショーはお待ちかね、つのだ☆ひろさんのコンサート『名前の昭和歌謡』（同右下）。飛鳥II船上でも既にお馴染みのつのださんは常々新しい演目を用意してくれることでも評判です。パワフルヴォイスで懐かしのあの歌この歌を、たっぷりと聴かせてくれました。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

音楽三昧の一日

Date : 2018/06/01 緯度 : N 35度 49分 経度 : W 74度 52分 天気 : 晴れ 気温 : 25.0度 速度 : 16.7ノット
海域 : 北大西洋 寄港地 : 終日航海日



昨夜ボルチモアを出航した飛鳥IIは再び細長いチェサピーク湾を南下して、朝には湾を出て南東へと航行しています。キャプテンの放送によれば、距離的にはひたすら南へ向かうのが最短ではあるものの、強いメキシコ湾流に逆らうことを避けるため、一度それをまたぐように沖へ出てから南へ針路をとるそうです。

外はやや風が強めですが船内は朝から賑やか。昨晚のショーでもお客様を魅了した、つのだ☆ひろさんが、午前10時からギャラクシーラウンジでコーラス教室を開いてくれたのです（写真上）。配布資料にはア・エ・イ・ウ・エ・オ・ア・オに始まる各音がずらり。ア行は表情、カ・サ行は息、タ行は舌など、発音に使われる主な要素も書かれています。

「一音一音がどうやって出ているかを改めて確認してください。認識すれば発声は変わります。何事も『認識しているかどうか』が大きな違いになるんです」。笑いも交えた楽しいこの教室が午前の華なら、午後の華は大竹史朗さんのギターと歌を堪能する『ラ・ギターラ・イベロアメリカーナ』（同右下）でしょう。朝も晩も音楽三昧の満ち足りた日になりました。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

濃紺の海と貝殻のアート

Date : 2018/06/02 緯度 : N 28度 55分 経度 : W 76度 3分 天気 : 晴れ 気温 : 26.8度 速度 : 17.9ノット
 海域 : 北大西洋 寄港地 : 終日航海日



きょうも終日航海の飛鳥II。正午時点でサルガッソー海の西端にいます。今朝がたあたりから海の色が変わったことに、ふと気がつきました。これまでの青から、より濃く輝く群青色の海になったと思うのです。このサルガッソー海は世界一透明度が高いとされているそうで、なるほど、カリブ世界に近づいているのだと感じます。

船内ではまたひとつ新たな教室が始まりました。飯室はつえ先生が教える「セーラーズバレンタイン教室」。聞きなれない名前かもしれませんが、羅針盤を模した八角形の木箱に色や形の違うさまざまな貝殻やサンゴなどを敷き詰めてゆくアートです。発祥はまさに飛鳥IIが向かうカリブ海の船上で、船乗りが陸に残した愛する人のために作ったそう。

かわいらしいアートゆえ女性のお客様が多いのですが、ここは敢えて男性陣の写真で行きましょう（写真右下）。発祥当時を再現するかのように「これ作ってウチの奥さんに贈るんだからさ」と笑うお客様、とっても素敵です。世界一周土産はさまざまあれど、地球の反対側の洋上で自ら作った作品というのも気が利いているとは思いませんか。



Cruise：2018年世界一周クルーズ（102）

カリブ海クルーズの人気寄港地

Date：2018/06/03 緯度：N 25度 5分 経度：W 77度 20分 天気：晴れ 気温：29.8度 速度：18.4ノット
 海域：- 寄港地：ナッソー



飛鳥IIはカリブ海クルーズでもとりわけ人気の寄港地、バハマのナッソーに到着しました。栈橋のいちばん町に近いところに飛鳥II、その隣には3隻の客船。合計4隻がずらりと並ぶさまはさすが人気の寄港地です。低い建物の土産店が連なるちいさな町を抜けた先、客船を遠望するビーチでは地元の人たちが海水浴を楽しんでいました（写真上）。

ところで、筆者は午前中は近隣の見どころをぎゅっと詰め込んだ「ナッソー半日観光」に参加しました。船の船首のかたちをしたフィンキャッスル砦（同右下）から栈橋に連なる客船を見下ろしたり、アーダストラ・ガーデンで、ピンク……と言われますが実際は朱色かオレンジでしょうか、鮮やかな色のフラミンゴたちのショーを見学したり（同左下）。

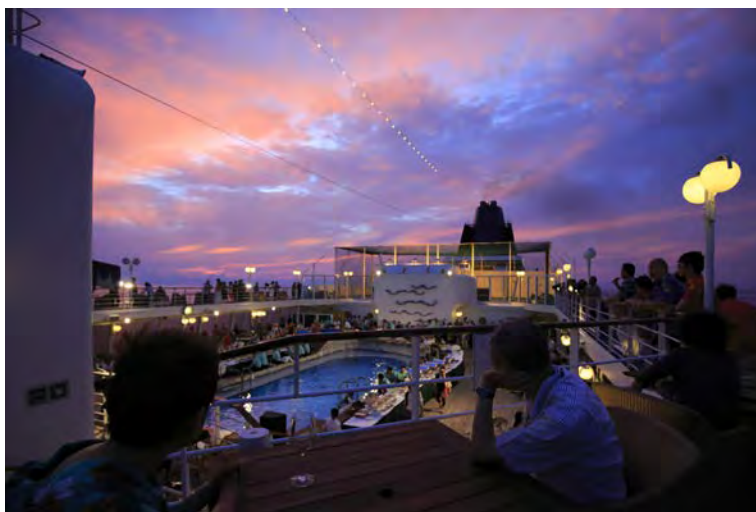
曇りがちの予報でしたが晴れるところはしっかり晴れて、どなたも1日を楽しまれたことと思います。名物のコンク貝のサラダやフリッターを食べた方、ラム酒やラムケーキ、コンクパールの宝飾品をお土産に買った方。町なかでお客様とすれ違うたびに、「どこどこは行った？」「あのお店がよかったよ」などとお声を掛けて頂きました。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

カリビアンデッキディナー

Date : 2018/06/04 緯度 : N 23度 58分 経度 : W 74度 35分 天気 : 曇り 気温 : 29.0度 速度 : 11.9ノット
海域 : 北大西洋 寄港地 : 終日航海日



昨夕にナッソーを出航した飛鳥IIはいったん北上して環礁を避けるように大西洋に出て、再び南の方角へと針路をとっています。今朝早く右舷に見えていたのはキャット島、また11時半ごろに左舷に見えたのはサン・サルバドル島。後者は大西洋を渡ったコロンブスが「新大陸と思って初上陸した島」だそう。上陸地点の砂浜には小さな白い十字架が見えました。

きょうは一日曇りがち。本来は太陽が真上に来る「影がなくなる日」のはずですが、陽射しがないので惜しくもそれは分かりませんでした。とはいえ、きょうは皆さんお待ちかねのイベント、カリビアンデッキディナーが待っています。夕方には薄日もさしてきて、開始時間にはたくさんの方々がプールサイドのビュッフェに列を作っていました。

クルーズスタッフによる出し物があったり、ゲスト出演では、つのだ☆ひろさんがドラムを叩いてくれたり（写真左下）、デッキディナーはやはり楽しいですね。夕暮れ時は昼間の曇り空が嘘のようにみるみる空が赤紫になってゆき、思わず一段高い12デッキに上がってしばし空に見とれるお客様多数（写真上）。素敵なデッキディナーとなりました。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

青い海とブリッジオープン

Date : 2018/06/05 緯度 : N 19度 1分 経度 : W 74度 46分 天気 : 晴れ 気温 : 31度 速度 : 12.9ノット
海域 : カリブ海 寄港地 : 終日航海日



きょうも昨日に続いての終日航海日。朝いちばんのイベントは久しぶりのブリッジオープン（操舵室見学）です。小久江尚キャプテンが電子海図を使って解説するまわりには、熱心に見入るお客様（写真右下）。きょうは救命ボートに装備されている非常用のライトや食料なども展示され、皆さんクルーに質問をしたり写真を写したり……。

それにしてもこのところ、本当に海の青さが格別です。たまにはこんな写真もいいのではないかと思います。立ち、きょうのメインカットは、海の青。飛鳥IIの舳先がつくった波をプロムナードデッキから望遠レンズで切り取りました。どうですか？ この青と白。海域の名物でもある黄色っぽいサルガッソー藻も見かけますが、ともあれ海はこの青です。

船は夕方にはジャマイカ海峡を抜けました。このカリブ海の船上で、きょうもうひとつの「久しぶり」は和の笑い。飛鳥IIでももはやお馴染み、古今亭志ん彌師匠による落語（写真左下）と、マグナム小林さんのユニークなバイオリン漫談の2本からなる演芸会がギャラクシーラウンジでありました。会場はまさに笑いの渦。本当に面白かったです。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

カリブ海の真ん中で

Date : 2018/06/06 緯度 : N 13度 45分 経度 : W 75度 30分 天気 : 晴れ 気温 : 29.0度 速度 : 13.3ノット
海域 : カリブ海 寄港地 : 終日航海日



カルタヘナ寄港を明日に控えた飛鳥II、きょうはちょうどカリブ海の真ん中をほぼ真南に向かって航行しています。11時から「パナマ運河よもやま話」と題して、稲葉スタッフキャプテンが6月8日通航予定のパナマ運河について解説してくれました（写真左下）。会場いっぱいのお客様が集まる中で、時にクイズを交えてのよもやま話。

強い日差しから水先人を守るために、ブリッジウイングに「パナマ・オーニング」と呼ばれる日よけが義務付けられていることや、実は太平洋側のほうが最大5メートルほど海面が高いこと、ロック（閘門）で船を昇降させる仕組みはポンプなどではなく単に重力で水を流し込んでいるだけということなど、思わず「なるほど」と唸ることばかり。

夜はドレスコードがフォーマルでした。アペリティフタイムにはパームコートで踊る方もいれば、アスカプラザでカクテル片手に談笑する方も。ショーは「NAOTO クルージングコンサート ～ヒーリングナイト～」。NAOTOさんのバイオリンの音色の素晴らしさ、そして榊原大さんのピアノとのコンビネーションも抜群で、文字通り癒しのひとときとなりました。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

色彩あふれる旧市街

Date : 2018/06/07 緯度 : N 10度 24分 経度 : W 75度 32分 天気 : 晴れ 気温 : 32.0度 速度 : 12.3ノット
海域 : - 寄港地 : カルタヘナ



今朝は日の出こそ水平線近くの雲に隠れていたけれど、空の一部をしばし真っ赤に染めました。その後ほどなくしてビル群が林立する新市街を左舷に見つつ、飛鳥IIはカルタヘナの港に着岸しました。岸壁では地元の踊り子さんたちが、鮮やかな色づかいのスカートを振りながらのダンスで歓迎（写真左下）。

ここコロンビアのカルタヘナは今回のクルーズ唯一の南米大陸の寄港地です。世界一周でパナマ運河の通航直前に立ち寄る港として、リピーターのお客様にはきっとお馴染みのことでしょう。かくいう筆者も度々訪れていて、それでも来るたびに色にあふれた旧市街の美しさに毎度心を奪われ、たくさんの写真を撮ってしまいます。

シャトルバスの発着地はラス・ボベダス（同右下）。かつて兵舎や武器庫として使われた細長い建物に、今ではたくさんの土産店が入っています。そこから歩いて馬車広場で時計塔を眺めたり、カフェでひと休みして有名なコロンビアコーヒーを味わったり。それにしてもきょうはとびきり暑い一日でした。14時に出港し、船はいま、明日のパナマ運河を目指して西進中です。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

パナマ運河で太平洋へ

Date : 2018/06/08 緯度 : N 9度 11分 経度 : W 79度 53分 天気 : 曇り 気温 : 30.7度 速度 : 3.0ノット
 海域 : パナマ運河 寄港地 : 終日航海日



きょうは後半のハイライトのひとつ、パナマ運河の通航です。朝7時半ごろには最初の防波堤を過ぎて運河の入口へと近づきました。まず出迎えてくれたのは建設中でまだ一部が繋がっていない大きな橋。来年以降に完成するまだ名前のない橋だそうで、過去何度かここを通ったお客様にとっても初めて見る光景だったかもしれません。

その後ほどなく、左手に新パナマ運河の分岐を見つつ飛鳥IIは最初の閘門・ガツンロックに取り付けました（写真上）。太平洋側へ抜ける南行きの場合はこの閘門で一気に3段の「水のエレベーター」を使い、内陸のガツン湖の水位まで上ります。両舷では合計6両の銀色の電気機関車がワイヤーを引いて、船体を運河の中央に保っています（同左下）。

通航はほぼ一日がかり。その後はしばしガツン湖の風景を望みます。お昼は、狭い水路や運河を「うなぎのようにするっと抜ける」ということで美味しいうなぎを（同右下）。難工事だった切り通しのゲイラードカットやさらに2つのロックを経るころには雨季特有のスコールも降りました。夕方遅く、飛鳥IIはついに久しぶりの太平洋に戻ってきました。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

まだまだ、新しいこと

Date : 2018/06/09 緯度 : N 7度 33分 経度 : W 82度 35分 天気 : 曇り 気温 : 26.0度 速度 : 18.1ノット
海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



船内新聞『アスカデイリー』の右肩をふと見ると「世界一周クルーズ77日目」とありました。気づけば全行程の3分の2をとうに過ぎ、この楽しいロングクルーズもそろそろ仕上げに向かいつつあるようです。そんな船内ですがまだまだ新たな教室やイベントは続きます。きょうは「非日常がすでに日常になっている」船内の様子を綴ってみましょう。

午前中はカルタヘナから乗船してきた新たな先生、草田照子先生の短歌教室の説明会がハリウッドシアターでありました（写真左下）。例として詠まれた短歌は意外に自由で笑いも誘い、なんだか楽しそうな予感がします。また、午後いちばんには『アスカデイリー』にも載らない密かな集まりが船内各所で……。写真上はマリナーズクラブでのひとコマです。

実はこれ、お客様有志が各チームに分かれて出演する6月14日の『インターナショナル・ナイト』に向けた練習会。詳細は当日に譲るとしても、本番がなんとも待ち遠しいですね。そして晩には、これまた新たなメンバーを迎えた本船専属・アスカオーケストラによるバンドショー（同右下）。こうして日々新たなことがあり、楽しい時間を過ごしています。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

太平洋の片隅で

Date : 2018/06/10 緯度 : N 11度 26分 経度 : W 87度 46分 天気 : 晴れ 気温 : 29.0度 速度 : 15.4ノット
海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



飛鳥IIは昨夜からニカラグアの遠い沖合を航行しています。きょう一日、ニアラグア、ホンジュラス、エルサルバドルといった国々の沖を北上する予定。そんな太平洋の東の隅っこにいる我々だからこそ、さまざまな文化に縁があると言えるかもしれません。午前中にはそのひとつ、太平洋の真ん中のハワイに心誘うウクレレ教室がありました（写真下2点）。

ウクレレ教室では小川クルーズディレクターを先生に、これまでの復習に加えて『カイマナヒラ』を練習。次々変わるコードに少し苦戦しながらも、皆さん楽しそうに弾いていました。またそのすぐ後には明日のグアテマラ・プエルトケッツァル入港を前にして、このクルーズ最後のスペイン語教室が同じハリウッドシアターで催されました。

そして晩には、中南米に思いを馳せるギャラクシーラウンジでの「あみ〜ご楽団&DANZAR コロンビア舞踏コンサート」も（同上）。ギターのイルヴィンコージ、ファン、ボーカルのタカコ、さらには合計3人のダンサーを迎える華やかさ。ギターの指さばきやダンスの足さばきに思わず息を呑む、そんな素敵なコンサートでした。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

マヤ文明のティカル遺跡へ

Date : 2018/06/11 緯度 : N 13度 55分 経度 : W 90度 47分 天気 : 晴れ 気温 : 31.2度 速度 : 13.4ノット
海域 : - 寄港地 : プエルトケツツアル



今朝早くに飛鳥IIはグアテマラのプエルトケツツアルに入港しました。筆者は昼食つきの「ティカル遺跡を訪ねて」に参加。小型のプロペラ機をチャーターして片道1時間のフライトで行く贅沢な日帰りツアーです。マヤ文明最大の遺跡として世界遺産にも登録されたティカル遺跡は、見事な晴天で私たちを迎えてくれました。

密林の中に神殿や宮殿、球技場などをもつこの遺跡、3～8世紀ごろの最盛期には人口6万人にも達したそうです。写真上は登頂可能なII号神殿から真向かいのI号神殿を見渡したものの。I号神殿は入口にジャガーの彫刻があって「大ジャガーの神殿」とも呼ばれています。途中、文字通り吠えるような声をあげるホエザルの群れにも遭遇してびっくり（写真右下）。

今回の寄港はフエゴ火山の噴火の影響が心配されましたが、飛鳥IIでは情報収集に努め安全を確認しての入港となりました。古都アンティグアへの観光も滞りなく催行。船内では義援金の募集もありました。現地の方から「いま皆さんに観光に来て頂けることはとても有難く、私たちにとって最大の支援です」との言葉をいただいたと、後で聞きました。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

新クルーズとカツオドリ

Date : 2018/06/12 緯度 : N 14度 35分 経度 : W 95度 47分 天気 : 晴れ 気温 : 29.0度 速度 : 18.0ノット
海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



昨夜プエルトケツァルを発った飛鳥IIは中5日の航海で次の寄港地サンディエゴを目指しています。しばらく航海日が続く時は、ゆったりと落ち着いて物事を考えたりできるのもいいですね。さて、そんな連続航海の初日、クルーズセールスオフィスからひとつお知らせがありました。「2019年ハワイ・アラスカ グランドクルーズ」の発表です。

日本でも同時発表となったこのクルーズは、横浜発着で2019年6月3日～7月12日までの40日間。ハワイ4島、美観で知られるインサイドパッセージ、個性的なアラスカ各港への寄港などが実に楽しそう。船上では午前中にハリウッドシアターで説明会が催され、多くのお客様が熱心に耳を傾けていました（写真右下）。

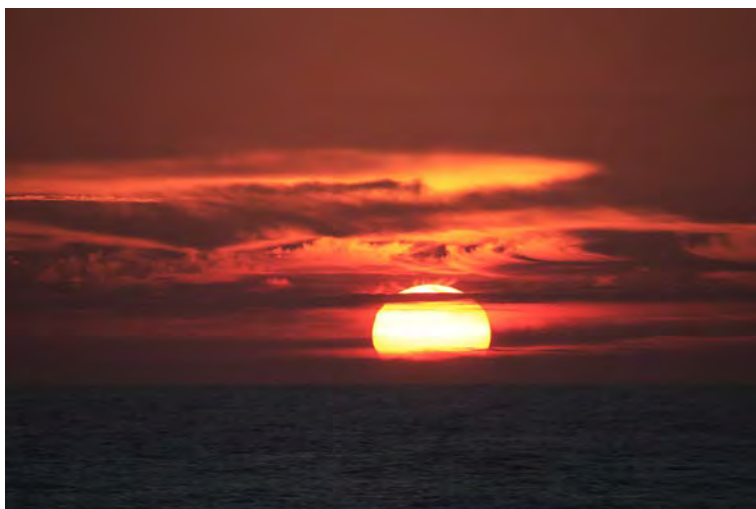
ところで、舳先のほうでは朝からずっとたくさんのカツオドリが飛んでいましたが、日が傾く頃には疲れたのでしょうか、手すりに止まって羽を休めていました（同上）。穏やかで心洗われるような光景をカメラに収めて満足し、夜は飛鳥IIでもお馴染みのメキシコのテノールシンガー、マウロ・カルデロンさんの美声に酔いしれました（同左下）。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

船上生活の幸せ

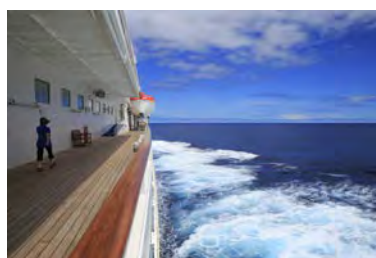
Date : 2018/06/13 緯度 : N 16度 2分 経度 : W 103度 16分 天気 : 晴れ 気温 : 28.2度 速度 : 18.4ノット
海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



きょうの船内新聞『アスカデイリー』のスケジュール表で筆者が最も惹きつけられたのは、午前10時からの講演『脳と幸福』。話してくれるのは写真左下、テレビなどでもお馴染みの脳科学者・茂木健一郎さんです。幸せになるための条件を脳科学の立場から探る今回のテーマ、50分間終始笑いが絶えない実に面白くて興味深い内容でした。

曰く、人の個性と欠点は表裏一体、幸せは結婚や子供の有無や裕福度とは関係がない等々。「『こうじゃないと幸せではない』と思い込むことが最も不幸」と茂木さん。自分の個性を認めることが幸せへの近道ようです。講演は「だから皆さん自分を受け入れてください。幸せとは安全基地であり、幸せがあるから挑戦できるんです」と結ばれました。

実はぼーっとしている時間も脳を整理するのに役立つもので、デッキの散歩もお勧めです。そんな茂木さんの言葉を思い出し、きょうは何度かデッキに出ました。昼間は海と空の青がどこまでも続き、夕暮れ時には右舷側、船首の方向に真っ赤な夕日が沈んでゆきました（写真上）。こんな景色がたびたび見られるのだから、やはり船上生活は幸せですね。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

快晴の洋上ビアガーデン

Date : 2018/06/14 緯度 : N 17度 39分 経度 : W 110度 30分 天気 : 晴れ 気温 : 27.2度

速度 : 17.7ノット

海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



飛鳥IIは中・北米の海岸線を大きく縁どるようにして西北西、のちには北北西に針路をとって、きょうも順調にサンディエゴへと向かっています。多少の雲はあるものの概ね天気はよくて、お昼のプールサイドの「飛鳥ビアガーデン」には最高の条件でした。「まさにビール日和だねえ」といった嬉しそうな声がお客様の間から聞こえてきます。

チケット購入で指定銘柄のビールとテキーラ、テキーラカクテルなどが飲み放題。グリルソーセージや焼きイカなども供されて、つまみにも事欠きません。そしてゲストエンターテイナーのマウロ・カルデロンさんが飛び入り参加、熱唱しながらお客様の間を歩いて握手をし、笑顔で写真撮影に応じてくれました（写真左下）。

夜のお客様参加イベント「インターナショナルナイト」も楽しかったですね。ひそかに練習を重ねた4チームが成果を披露。日本チームはソーラン節、アフリカチームは打楽器・ジャンベ、ポリネシアチームはタヒチアダンス（同右下）、ヨーロッパチームは各国言語と日本語の歌。お友達からの声援が飛び交う心温まるひとときでした。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

幅広いクルーズの楽しみ

Date : 2018/06/15 緯度 : N 23度 20分 経度 : W 114度 1分 天気 : 晴れ 気温 : 22.0度 速度 : 17.8ノット
海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



きょうも終日航海日の飛鳥II。だいぶ北上してきて、今朝、カリフォルニア半島の沖へとさしかかったところです。この世界クルーズもいよいよ終盤ですが、いまだに時折「こんな教室もあったのか」と思うほど、船内での教室やイベントは数多く、ジャンルもさまざまです。今朝いちばんにお邪魔してみた護身術教室（写真左下）もそのひとつ。

合気道の黒帯をもつアシスタントクルーズディレクターの増田さんが先生で、これまでに習った片手・両手の離脱法などをひとつひとつ復習してゆきました。午前中には他にも脳科学者・茂木健一郎さんの2回目の講演「脳と笑い」があったり、午後には古今亭志ん彌師匠の「お昼の落語」でお腹をかかえて笑ったり（同右下）。

周囲は360度海の上。きょうはこのクルーズ7度目の船が太陽直下にくる日でしたが、意外と雲が多くてデッキに出たお客様は多くなかったようです。日差しは来ないかなと見上げると、飛鳥IIの象徴「二引き」のファンネルの上にはきれいなうろこ雲。夕日も鮮やかで船内放送がかかったほどでしたし、楽しみの多い航海日を過ごしています。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

ユニーク教室 2 選

Date : 2018/06/16 緯度 : N 28度 54分 経度 : W 116度 8分 天気 : 曇り 気温 : 18.5度 速度 : 14.7ノット
海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



サンディエゴ寄港を明日に控えた飛鳥IIはきょうもカリフォルニア半島沖を北上中。各種教室でしばしば使われるのが緑色の壁が印象的なコンパスルームや、ダンスホールでもあるクラブ2100などですが、今回はそれとは雰囲気異なる2つの教室風景をご紹介します。まずひとつ目はマリナーズクラブで行われたカクテル教室（写真上）。

教えてくれるのはヘッドウェ이터の丹沢さん。きょうは2回完結の1回目で、主に座学です。資料を見ながらカクテルの構成などを学びました。ベースのお酒だけでもジンやウォッカ、ラム、テキーラなどさまざま。カクテルというのは覚えるだけでも大変なものですが、お集まりの皆さんもなかなかにお詳しいようで、質問も多くありました。

次回は実際に作ってみるそうですが、この日はシェイカーを振る動作まで。それでも皆さんこの笑顔。次回が待ち遠しいですね。さて、もうひとつは写真下2点のバルーンアート教室。先生はクルーズスタッフの田上さんです。自ら考案した「だっコアラ」がきょうのお題。時には失敗してパンッと割れたりするものの、どなたも楽しく作っていたようです。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

カリフォルニアの青空の下

Date : 2018/06/17 緯度 : N 32度 43分 経度 : W 117度 10分 天気 : 晴れ 気温 : 22.0度

速度 : 13.4ノット

海域 : - 寄港地 : サンディエゴ



夜明け前に水先人を招き入れ、飛鳥IIは細い水路を進んでサンディエゴのブロードウェイ・ピアに着岸しました。朝方は曇りがちだったものの予報通りに昼前から晴れ間が広がり、白い船体がカリフォルニアの青空にひととき眩しく映えています。栈橋の目前がもう街で、徒歩でもシャトルバスでもツアーでもと、楽しみ方いろいろの寄港地です。

午前中の筆者はすぐそばのアムトラック終着駅やリトルイタリーを見学したり、買い物をしたり。そして午後は近隣の見どころを効率よく巡るツアー「サンディエゴ半日観光」にご一緒しました。バスの車窓から流れ行く風景を楽しんで、野球場ペトコパークでフォトストップ。眺望抜群の大きな橋の向こうのコロナド島へも行きました。

コロナド島で有名なのはホテル・デル・コロナド (写真右下)。カリフォルニアで最も歴史ある木造のホテルで、マリリン・モンロー主演の映画『お熱いのがお好き』の撮影に使われた大樹も残っていました。一帯の海辺はどれも美しく、ビーチや栈橋、ヨットハーバーなど、思わずカメラを向けてしまいます。日没後、飛鳥IIはホノルルに向けて出航しました。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

太平洋の島々の薫り

Date : 2018/06/18 緯度 : N 30度 34分 経度 : W 121度 30分 天気 : 曇り 気温 : 16.2度

速度 : 17.6ノット

海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



昨晚、灯りきらめく夜のサンディエゴを出港した飛鳥IIは、いよいよ太平洋横断の旅路につきました。きょうはホノルルまでの5日間の終日航海の初日。朝目覚めて、船内の雰囲気が一気に変わったことに気づいた方も多いでしょう。新たなエンターテイナーが多数乗船し、船内各所では太平洋にちなんだ教室やイベントが目白押し。

朝いちばんにはマル・プロダクションの面々によるポリネシアンダンス教室（写真右下）、そして昼のウクレレ教室には飛鳥IIの元クルーズディレクター・ボブ田中さん（同左下、左から3人目）がゲストで登場。初代飛鳥の頃から長らく「飛鳥にこの人あり」と言われたボブさんだけに、懐かしさで胸がいっぱいのリピーターのお客様も多いに違いありません。

他にもハワイ伝統のラウハラ編み教室があったり、夜にはニナ&ロバートのコンサートも……（同上）。ハワイのラジオ番組でソロ歌手として活躍したニナ、美声はもちろんフラの指導者としても名高いロバート。ハワイの音楽シーンを牽引してきたふたりの歌にマル・プロダクションの踊りも加わり、何とも心癒される、素敵なステージとなりました。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

ハワイアンデッキディナー

Date : 2018/06/19 緯度 : N 29度 16分 経度 : W 129度 41分 天気 : 曇り 気温 : 18.3度

速度 : 18.1ノット

海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



ハワイへの終日航海の2日目。サンディエゴ出港時にキャプテンが放送で教えてくれた通り、中6日のうち前半は天気が曇りがちのようです。きょうも朝から外は曇り空。鉛色とまではいかないまでも何となく霞んだ白っぽい空の下に、その空を映して若干控えめな群青色の海が横たわっている、という感じです。

しかし今日の予定は久しぶりのデッキディナー。晴れてもらわなければ困るのです。……という皆さんの願いが通じたのに違いありません。夕方に近づくにつれて雲は切れ、ついには鮮やかな橙色の夕日が射しました。ここまで練習を重ねてきたフラ教室・ウクレレ教室のお客様の発表の場も、見事な光に包まれています (写真上)。

そしてマル・プロダクションの皆さんがハワイ気分をいっそう盛り上げ、まさにその踊りと演奏のさなか、夕日が右舷側へと沈んでゆきました。ここ数日の船内で話題になった日没の瞬間に太陽のへりが一瞬緑色に輝く「グリーンフラッシュ」も出て、多くのお客様がご覧になったはず。最後の寄港地ホノルルに向け、気分は最高潮に達しています。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

和の心を感じる一日

Date : 2018/06/20 緯度 : N 27度 20分 経度 : W 138度 10分 天気 : 晴れ 気温 : 24.2度

速度 : 18.9ノット

海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



小久江キャプテンが定時の放送で好んで使う言葉を借りるなら、きょうも「360度、水平線の日」です。昨日のデッキディナーに夕日が華を添えて以後、天気はぐっとよくなりました。なのでご覧の通り青い空と青い海。こんな日こそロングクルーズに乗ってよかったなと思います。時間の使い方は自由。海を見ながらゆっくり物思いに耽ることもできます。

さて、きょうは和の心を想わせる話題をふたつ。ひとつ目は午前中に2クラス (A・B) あった草田照子先生の短歌教室 (写真左下)。お客様が読んだ短歌を丁寧に講評してくれました。たとえ単語ひとつでも言葉を選ぶことは大切だと、お話を聞いてつくづく実感します。具体的な場所・場面はあまり省略せず「場を出す」ことも大事だそうです。

また、午後にはパームコートで京都の老舗・聖護院ハッ橋総本店の和菓子を味わう「優雅な午後の日本茶」の時間がありました。お客様にも好評で、開始の時間からたくさんの方々が集まりました。暖簾のかかった特設カウンターにはお馴染みのハッ橋や水まんじゅうなどがずらり。どなたも、老舗の味を堪能されていたようです。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

船上の写真教室

Date : 2018/06/21 緯度 : N 25度 22分 経度 : W 146度 13分 天気 : 晴れ 気温 : 24.0度

速度 : 18.8ノット

海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



船上での各種教室には、世界一周クルーズ全区間を通して開催されるロングランのものもあります。人気のダンスやゴルフがそうですし、また、ハリウッドシアターで講義形式で行われる全10回の写真教室もそのひとつです。実はこのフォトエッセイを執筆中の高橋敦史が、写真教室講師も担当させて頂いています。

写真教室は毎回概ね70～100人ほどのお客様にご参加頂いていて、9回目のきょうは『総集編 これで写真がうまくなる』。我ながらずいぶんと都合のいいタイトルをつけたものですが、構図や「どこからどう見通すか」の問題、あるいは場面の切り取り方など、写真的視点と撮影のコツについてを総まとめとしてお伝えしました。

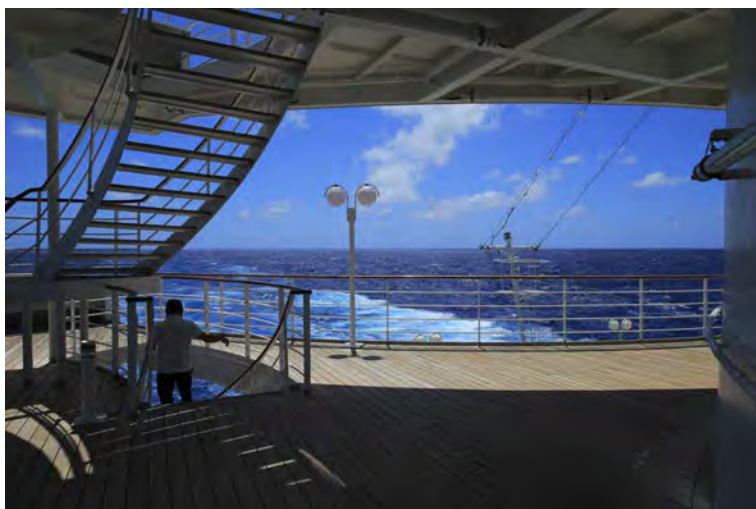
今回の教室はスマートフォンやコンパクトカメラの方でも上達できることを目標に進めてきましたが、ご参加の皆様にはきっとそれを実感して頂けていると思います。最後の講評会への提出写真を見れば一目瞭然。講評会も3度目だけに、皆さんかなりの力作揃い。ハリウッドシアターの大スクリーンに映してご紹介するのが、今から楽しみです。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

プロダクションショー新作披露

Date : 2018/06/22 緯度 : N 23度 2分 経度 : E 152度 54分 天気 : 晴れ 気温 : 27.0度 速度 : 15.9ノット
海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



ホノルル寄港を明日に控えたきょうも太陽は船尾側から昇り、日中は海と空が真っ青に輝いています。ハワイの島々までもあと少し。船内テレビの航路図には確かな島のかたちが映し出されています。そんな中、今朝はポリネシアンダンス教室の卒業式がありました（写真左下）。マル・プロダクションの皆さんによる教室は盛り上がり方も格別です。

他にもコントラクトブリッジや短歌、社交ダンス、ウクレレ、ドラム、ハワイアンテイストの巾着作り等々、教室数がさらに増えたのではと思うほど『アスカデイリー』のスケジュール表を賑わせています。そして今宵注目すべきは新作を携えて戻ってきた本船プロダクションキャストによるギャラクシーラウンジでのメインショー（同右下）。

『FOUR SEASONS（フォー・シーズン）』と題されたこのショーは、日本の四季の美しさを綴る『枕草子』から着想を得て作られたもの。季節を追って演出や衣装ががらりと変わるダイナミックさも見どころです。無事に初演を終えたあとにはプロデュースしたメンバーからの挨拶もあり、船上の夜を飾るにふさわしい華やかな雰囲気が楽しめました。



Cruise：2018年世界一周クルーズ（102）

最後の寄港地ホノルル

Date：2018/06/23 緯度：N 21度 19分 経度：W 157度 52分 天気：晴れ 気温：29.2度

速度：14.7ノット

海域：- 寄港地：ホノルル（オアフ島）



横浜出航から数えて91日目のきょう、飛鳥IIは2018年世界一周クルーズの最後の寄港地となるハワイのホノルルに着きました。栈橋はりピーターの方にはお馴染みのアロハタワー脇。毎度ながら、ここハワイではツアーに出掛ける方に加えて、街に出てお土産探しに精を出したり、ご家族ご友人と再会したりと過ごし方は他にも増して人それぞれ。

ご覧の通りの好天なので、筆者はまずはワイキキビーチで定番の絶景をパチリ。しばし海の青さに見とれたあとはコナコーヒーを最新スタイルで供するカフェへ。アメリカ西海岸発のサードウェーブ系コーヒーを風に吹かれるテラス席で味わいました。さすがと言うべきでしょう、店内には筆者よりも先に飛鳥IIのお客様がいらして笑顔でご挨拶。

その後は海辺を歩いてデューク・カハナモク像を過ぎ、ホノルル動物園のほうへ。途中何人かのお客様とすれ違って情報交換をしました。食事もハワイは選び放題ですね。お寿司にステーキにロコモコに韓国料理に……。筆者は現地在住の友人家族と1年ぶりに再会し、ローカルレストランで夕食をともにしました。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

虹の島を後にして

Date : 2018/06/24 緯度 : N 21度 19分 経度 : W 157度 52分 天気 : 雨 気温 : 26.7度 速度 : -ノット
海域 : - 寄港地 : ホノルル (オアフ島)



オアフ島は天気の変わりやすさも有名です。市街からダイヤモンドヘッドまでを一望する高台・パンチボウルに今朝いちばんに上って見渡すと、山側から断続的に雨雲が流れて頭上を通り過ぎるのが分かりました。天気は15分ごとに変わる感覚です。飛鳥IIのいるアロハタワー周辺が雨でも、ワイキキビーチはぴかぴかに晴れていたりするのです。

雨で一度は展望台に背を向けたものの急に晴れ間が広がり、慌てて戻りました。不便な場所にもかかわらず自力でいらした飛鳥IIのお客様とばったり出会い、記念写真のシャッターをひと押し。お聞きすると、この丘こそがいま30数年ぶりに再訪が叶った「思い出の地」。格別の想いを胸に抱くお客様とこうして偶然ご一緒できたのも幸いでした。

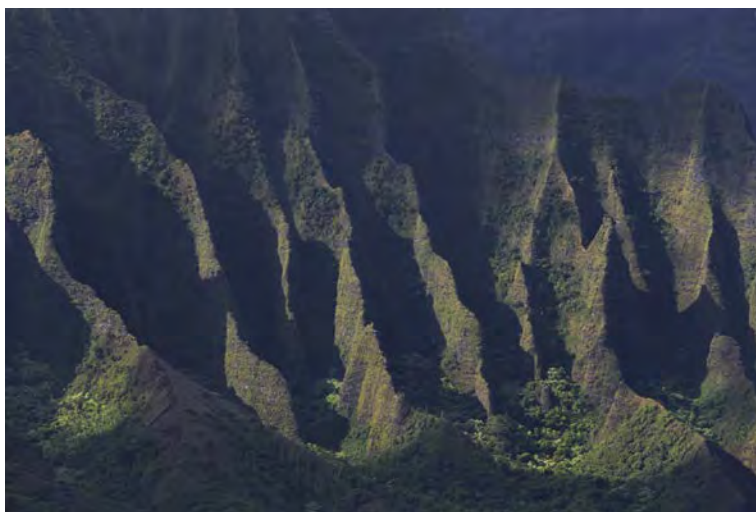
午後は再開発で人気上昇中のカカアコ地区へ（写真下2点）。倉庫を改装したカフェやレストランが連なり、方々に大きな壁画が描かれています。そして夕方ついに横浜へ向けて出航すると、左舷側に絶景が。ワイキキのビル群からダイヤモンドヘッドに至る大きな虹が日本への船出を見送ってくれました（同上）。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

クルーズ最後のデッキディナー

Date : 2018/06/25 緯度 : N 22度 6分 経度 : W 160度 31分 天気 : 晴れ 気温 : 27.4度 速度 : 12.0ノット
海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



昨夕、虹のアーチに見送られてホノルルを後にした飛鳥IIはオアフ島を反時計回りに北側へと回り込み、いよいよ横浜を目指して走り始めました。西行きの船は朝日が船尾側から昇ります。朝方にカウアイ島の景色が見えるというので少し早起きしてみたら、まばゆいほどの日差しが低い角度で照りつけて、長い影をデッキに落としていました。

7時半ごろカウアイ島の沖にさしかかり、8時過ぎには左舷の近いところに断崖絶壁で有名なナパリコーストが。およそ25kmも続くこの岸边は、通じる道路ありません。船上にいる我々を除けば、観光ヘリがいくつか見えるだけ。太古の地球を想わせるこの景色は、映画のロケにもよく使われるのだと聞きました（写真上）。

さて、きょうはこのクルーズ最後となる「アスカデッキディナー」もありました（同右下）。ぽっかり浮かんだ雲を夕日が彩るなか、美味しい料理とお酒を味わいました。元大関で現在は歌手・タレントとして活躍しているKONISHIKIさんがゲスト出演。世界一周もついに仕上げにかかろうというこのひとときを、大いに盛り上げてくれました。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

熱気に満ちるダンス教室

Date : 2018/06/26 緯度 : N 23度 19分 経度 : W 169度 7分 天気 : 晴れ 気温 : 27.0度 速度 : 19.6ノット
海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



世界一周102日間を通して続くロングラン教室の定番中の定番であり、常にひとときわ熱気を帯びているのが社交ダンス教室です。終日航海日には毎日ずっと、午前中に入門・初級、午後に中・上級クラスを開催、会場となるクラブ2100にはあふれんばかりのお客様が集っています。きょうはその社交ダンス教室を覗いてみました。

教えているのは山下昌美・野上敏子の両先生（写真上、左下）。教室はすでに復習の段階で、午前中はブルース、ワルツ、タンゴなどの模範演技をしたあとにブルースを総仕上げ。「クルマで言えば1000ccと3000ccクラスの違い」「これだとスチャラカホイホイになっちゃう」など、山下先生のトークは相変わらず分かりやすくて絶妙。皆の笑いを誘います。

午後のクラスはワルツのスピントーンから練習開始。ホイスク、シャッセ、イチ、ニノ、サン……。野上先生の声に合わせて踊る皆さんの姿は真剣そのものでした。午前・午後とも最後は全員で記念撮影。クルーズ中に何度も「ダンスの先生は教えるのが本当にうまいんだよ」とお客様からお聞きしたように、皆さんの充足感が伝わる素敵な教室風景でした。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

穏やかなる洋上の日々

Date : 2018/06/27 緯度 : N 26度 8分 経度 : W 177度 29分 天気 : 晴れ 気温 : 26.5度 速度 : 19.5ノット
海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



横浜まで中8日の終日航海の3日目。きょうも真っ青な海と空が視界いっぱいに広がっていて、船は順調に西北西へ進んでいます。風でやや白波が立つものの、向きは追い風。相対的には船上ではさほどの風を感じず至って穏やかな航海です。このクルーズで非日常を日常としてきたお客様は、変わらず船内生活を楽しんでいらっしゃいます。

写真右下、坂本弥生・竹中洋子両先生のコントラクトブリッジ教室（初級）。日差し明るいリドカフェの席には30名以上のお客様。ルールが難解なブリッジの「勝ち札の数え方」を教わっていました。横浜出航以来3組の先生たちがリレーしてきたこの教室も残すところあと3回です。居残りで先生に質問をする方がいたり、熱心さを実感します。

とは言いながら、帰国に備えて梱包用ダンボールの販売が始まったり、お客様同士で「最後にもう一度ディナーをご一緒しましょう」と約束を交わす場面が見られたり、確実に旅は終わりに近づいています。今宵のインフォーマルを彩るのはソプラノ歌手の幸田浩子さんの美声。写真左下「オペラティックコンサート」、艶やかで素晴らしいステージでした。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

懐かしの日本と丸い虹

Date : 2018/06/29 緯度 : N 29度 0分 経度 : E 174度 35分 天気 : 晴れ 気温 : 28.0度 速度 : 19.1ノット
海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



フォトエッセイを日々ご覧になる方なら気がつくかもしれません。昨日が27日できょうが29日。そう、昨夕19時38分に飛鳥IIは日付変更線を通り、船内時間が日本と同じ日付になりました。西回りに地球を回って積み重ねた1時間後進の時刻改正、つまり1日が25時間になるオマケをここでまとめて帳消しにして計算を合わせます。

そんなきょうは、近づいてきた久々の日本に思いを馳せるイベントが盛りだくさん。盆踊り教室、昔遊びの時間、歌声広場の最終回。午後にはプールデッキで餅つき&盆踊り。晴れ渡った空の下、皆でついたお餅を美味しく食べました。餅つきにはオフィサーも参加。写真上、左端が小久江キャプテンで、左から3人目は川上ホテルマネージャーです。

キャプテンが、たまたま近くにいた筆者を急に呼び止め頭上を差しました。「ほら、空見てくださいよ」。ハロとも呼ばれる見事な丸い虹（写真左下）。思わず見上げて写真をパチリ。お客様も一斉に見上げています。当欄筆者は写真家ですが、天気の観察眼はキャプテンが一枚も二枚もうわての様子。これも船乗りの才能でしょうか、個人的にも驚く出来事でした。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

総仕上げの発表会

Date : 2018/06/30 緯度 : N 31度 6分 経度 : E 167度 11分 天気 : 晴れ 気温 : 26.0度 速度 : 16.9ノット
海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



世界一周の日にちも残り少なくなってきた、「今回はお世話になりました」「次はどのクルーズで一緒できますか」といった会話がちらほらと聞こえてきます。各種教室も仕上げの段階。午前中にはウクレレ教室とフラ教室、そしてカラオケ同好会の合同発表会がギャラクシーラウンジでありました（写真左下）。練習の成果を出しきって会場からは大きな拍手。

また、午後の囲碁教室はこのクルーズ3人目の講師となる土井誠先生が解説のさなか。腕自慢の皆さんが集う中級教室にもかかわらず、なぜかホワイトボードの盤上には不思議な絵。実はこれ、余談で紹介してくれた碁の問題のひとつで「お互いが好手を続けるとお化けのようなイラストになる」というユニークなもの（同右下）。

そんな具合に船内各所、皆さんそれぞれに楽しく1日を過ごしています。晩のショーは2回目の「KONISHIKI コンサート」。ご存知、元大関で歌手・タレントのKONISHIKIさんがハワイアンやロックンロール、日本の歌など、1回目のショーとはまったく異なる演目で、賑やかに、華やかにステージを盛り上げてくれました（同上）。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

新作イリュージョン、初演

Date : 2018/07/01 緯度 : N 32度 53分 経度 : E 159度 2分 天気 : 晴れ/スコール 気温 : 26.0度

速度 : 17.2ノット

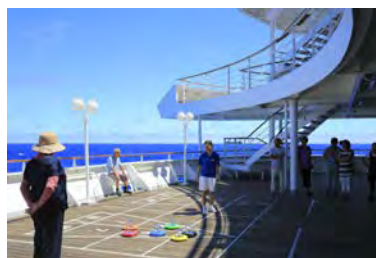
海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



太平洋の名の通り比較的穏やかな天候のなかで西へ西へと進み、飛鳥IIは着実に故郷・日本に近づいています。日本との時差調整のため、ホノルル以降は1時間後退の時刻改正が多くあります。しばしば1日が25時間になるので自然と朝も早起きになり、6デッキ後方スポーツデッキなどのすがすがしい屋外デッキに出たくなります。

スポーツデッキの定番といえば、出航当初から終日航海日は毎日欠かさず午前・午後と催されてきたゴルフレッスン（写真左下）。井上浩助ティーチングプロがフォームなどを丁寧に教えてくれるだけに馴染みのお客様も多くいます。また、お隣では皆で楽しむ各種ゲームをクルーズスタッフが中心となって開催中（同右下）。

そして今夜の注目の的はなんと言っても、飛鳥IIイリュージョンマジックショー『ANOTHER WORLD』の初演です。本場ラスベガスで制作してきたばかりの新作を、本船専属マジシャンのTAKUYAとプロダクションキャストが見事、ダイナミックに演じてくれました（同上）。あっと驚くイリュージョンの数々に、惜しめない拍手が送られていました。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

フェアウェルパーティー

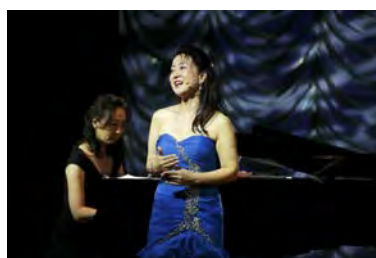
Date : 2018/07/02 緯度 : N 33度 58分 経度 : E 151度 38分 天気 : 晴れ 気温 : 26.0度 速度 : 15.1ノット
海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



朝8時50分、小久江キャプテンによる定時の船内放送できょうがクルーズ100日目と知りました。船内新聞『アスカデイリー』の表紙にもキャプテンの挨拶文が載っていて、とにかく穏やかな天候が続いた平穏で楽しいクルーズだったことを改めて思い出します（写真左下）。毎日見慣れたこの表紙とも、あと数日でしばしのお別れ。

さて、きょうはこのクルーズ最後のフォーマルナイト。夕方以降は皆さんとびきりお洒落に着飾って、船内の空気が一段と艶やかになりました。ディナーの前には「キャプテンズ・フェアウェルパーティー」。お客様の誰もがとりわけ身近に感じているはずのハウスキーピングの女性たちが、オフィサー陣と一緒に『蛍の光』を合唱してくれました（同上）。

そして瀧総料理長以下ギャレースタッフが腕をふるったフルコースは抜群の味。デザートのパイクドアラスカを掲げての行進もありました。ゲストエンターテイナーの大トリを務める『幸田浩子 ふるさとを想う ～海と星空コンサート～』（同右下）も素晴らしく、世界一周を締めくくるにふさわしい盛りだくさんのフォーマルナイトになりました。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

笑いに満ちたクルーショー

Date : 2018/07/03 緯度 : N 34度 38分 経度 : E 144度 6分 天気 : 晴れ 気温 : 26.8度 速度 : 15.0ノット
海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



きょう7月3日は世界一周クルーズ102日間の最後の終日航海日。そう考えると、見慣れたはずの水平線もなんだか名残惜しく思えます。天気予報を見て、日本に近づくにつれて雲が増えるかなと思いましたが、進行方向を一望するビスタラウンジの眺めは朝から青一色。夕暮れ時は霞がかった空模様が日差しを弱め、美しい銀色の世界をつくっていました。

いよいよ下船準備で船内アクティビティは少なめ。とはいえ午前中には各寄港地で用意した記念品や飛鳥IIオリジナルグッズが当たるビンゴ大会がありましたし、夜にはロングクルーズの総仕上げとして皆さんお待ちかねのクルーショーも開催（写真3点）。ふだん船内各所で働いている彼らの意外な才能にびっくりです。

出し物は新入社員たちのロックバンド演奏、フィリピンクルーの華麗なダンス、ホテル部17名の劇団飛鳥『ミュージカル・リトルマーメイド』（写真左下）、客室係の女性たちによる歌（同右下）等々。締め『あすか新喜劇 ～バツハ診療所～』はとりわけ爆笑の渦（同上）。お客様に楽しんで頂きたいという心からの気持ちが伝わる、熱い熱いひと幕でした。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

102日間世界一周、再びの横浜

Date : 2018/07/04 緯度 : N 35度 27分 経度 : E 139度 39分 天気 : 晴れ 気温 : 29.2度 速度 : 12.7ノット
海域 : - 寄港地 : 横浜



今朝早く、ついに日本の陸地が見えてきました。飛鳥IIは6時ごろには東京湾内へと進み、貨物船など多くの船が行き交う中を北上。対向の自動車運搬船が過ぎたところで大きく左に舵を切り、横浜ベイブリッジをくぐります。遠く離れた台風の影響で風こそ強いものの、多くのお出迎えの方々の姿が大さん橋の上にいるのが見えてきました。

声を揃えて「ただいま〜!」と叫ぶと、大さん橋からは「おかえり〜!」の声。飛鳥IIのデッキでは入港パーティーが行われ、お客様同士、あるいはお客様とクルーや講師との間で、たくさんのありがとうの挨拶が交わされていました。思わず涙ぐむ姿も方々に……。102日間をかけ、私たちは本当に世界を一周したんだなあという感慨がこみ上げます。

客室テレビの航路図では、航跡が世界を結ぶひとつの線になりました。ここで東日本のお客様を中心に半分以上の方々が下船されます。どうかご自宅までもお氣をつけて、そしてまたいつかこの船上でお会いしましょう。飛鳥IIはその後定刻通り午後3時に踵を返して再び出航。このクルーズ最後の港、神戸に向けて太平洋を西へ航行しています。



Cruise : 2018年世界一周クルーズ (102)

世界一周クルーズ、完結

Date : 2018/07/05 緯度 : N 34度 41分 経度 : E 135度 11分 天気 : 雨 気温 : 25.5度 速度 : 16.7ノット
海域 : - 寄港地 : 神戸



昨日、横浜を発った飛鳥IIは残る西日本のお客様を乗せて太平洋を西進し、午前10時ごろには日ノ御埼を過ぎました。ちょうどその頃に最後の船内イベントとして行われたのがクラブ2100での「サンクスアワー」。4チームに分かれてゲームに挑んだのですが、さすがは102日間世界一周の友というべきか、皆さん抜群のチームワーク（写真右下）。

雨が次第に強まる空模様のもと、船は友ヶ島水道を抜けて大阪湾へ。接岸の時間が近づくとお客様が三々五々、入港パーティーに集まり始めました。アスカオーケストラの演奏をBGMに最後の歓談タイムです。挨拶を交わしたり連絡先を教えあったり、あるいはその先のビスタラウンジで静かに入港シーンを見守ったり（同左下、上）。

今回はおしなべて、本当に穏やかな世界一周でした。最後の神戸こそ雨の入港だったものの、この102日間はすべてが愛すべき思い出です。「この天気も含めて、世界一周なのよね」とビスタラウンジで隣り合ったお客様が感慨深そうに言いました。というわけで飛鳥IIの2018年世界一周クルーズ、これにて無事に完結です！

